

# 埼経協ニュース



12・1

'16~'17 月号

## 新春所感

会長 上 條 正 仁

新春を迎え、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、歴史に残る大きな転換の年でありました。全世界が固唾をのんで開票状況を見守る中、イギリスにおけるEU離脱、アメリカ大統領選挙でのトランプ氏の勝利と大方の予想を覆す結果となりました。反グローバル主義の高まりや経済格差拡大に対する反発などを背景に、これまでの常識を前提とした将来予測が全く当てにならない

い、未曾有の時代の到来を思い知る年でありました。スポーツ面では、南米大陸で初めてのリオオリンピックが開催され、史上最多の四十一個のメダルを獲得した日本選手の活躍に日本中が沸き返りました。また、科学技術面では、三年連続で東京工業大学栄誉教授の大隅良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞し、日本の基礎科学が高く評価されるという明るい話題がありました。

一方、海外ではシリアを巡る米ロ関係の悪化や、中国の南シナ海進出問題、欧州で勢いを増すポピュリズム、極右政党の躍進など、自国優先の保護主義がひたひたと加速するこ

とに不安を感じる年でもありました。産業面では、毎日のように「IoT」「AI」という単語がマスコミをにぎわせ、巷間やバズワード化している感もありますが、様々な産業で実践の導入が始まっており、企業経営面では、世界的な低金利を背景に国内外で数兆円規模の巨額M&A取引が次々と実現し、加えて、国内大手企業同士の提携・経営統合発表が相次ぐなど、世界のビッグブレイヤーはグローバル競争下での生き残りをかけ、思い切った事業展開が始まっています。



ここで足元の経済情勢に目を転じますと、平成二八年度七―九月期の実質GDP(第二次速報値)は年一・三%と、三―四半期連続のプラス成長となり、設備投資は依然冷え込んでいるものの、外需や個人消費の持ち直しがプラス成長を支えているようです。様々な不確定要素を抱えながら、今後も国内の経済対策や円安効果などを背景に、穏やかな回復が続くものと考えられます。こうした状況の中で、平成二九年度の日本経済を展望いたしますと、主要シンクタンクの最新の予測では、

実質経済成長率は二八年度と同水準の1・1から1・2%を見込み、穏やかな持ち直しが続くという予測しております。

しかし、米次期政権の保護主義姿勢や政策の不透明感、為替動向の不安定さ、欧州の不協和音などを見ると、現段階での経済予測にどの程度の信憑性があるのか大いに警戒を要するものと感じています。

アベノミクスと呼ばれる経済政策と日銀のマイナス金利政策は、これまでどころ、それらの政策なかりせば、これまでのデフレ脱却は難しかったかもしれないという消極的な肯定論はあるものの、率直に言って、まだ我が国経済は低成長という長いトンネルを抜け出せていないと評価するのが妥当ではないでしょうか。

政府主導で働き方改革や賃金上昇を進め、IoTを活用した第四次産業革命などの生産性向上策に取り組み始めているものの、景気回復感を多くの国民や経営者を感じるには未だ時間を要する状況となっております。こうした情勢下、今後の企業経営を考える上で、二点ほど所感を述べさせていただきます。

まず、一点目は「強みを活かし自信を高める」ことについてであります。この原因の一つとして、他国と比べて著しく低い日本人の自己肯定感に起因する自信の弱さがあるのではないかと思っております。少し古いデータになりますが、2010年に日米中韓の高校生に自己肯定感に関するアンケートが実施されました。質

問内容は、「自分は価値ある人間だと思うか」と、「自分を肯定的に評価する方か」の二つでした。初めの質問に「全くそうだ」と回答した学生は、アメリカ57・2%、中国42・2%、韓国20・2%であるのに対し、日本は7・5%。二つ目の質問に「全くそうだ」と回答した学生は、アメリカ41・6%、中国21・9%、韓国14・9%であるのに対し、日本は3・9%と、いずれも桁違いに低い結果になりました。

日本人の自己肯定感の低さは謙虚を美德とする考えによる部分が大きいと思われるが、他国との比較においてここまで差が開くということは、学生だけの問題というよりも、多くの日本人が抱える共通の課題ではないかと思えます。

企業活動でも、欧米では攻めの姿勢で、ポジティブ・シンキングが尊ばれるのに対し、日本ではかねてから減点法の人事評価や守りを重視する経営手法で、ネガティブな姿勢が多く見られる気がします。スポーツや企業における人材育成でも弱点を直すことに主眼が置かれることから、多くの日本人は自分の短所や弱点は把握していても、自分の長所や強みを正確に理解し、表現することが難しいと言われています。経営学者のピーター・ドラッカーは、「何事かを成し遂げるのは、強みによってである。弱みによって何かを行うことはできない。」という言葉を残しており、堀場製作所の堀場雅夫氏は、「出る杭は打たれるが、出すぎた杭は誰も打てない。出ない杭、出よう

としない杭は、居心地はよいが、そのうちに腐る。」と言っています。ネガティブな姿勢や減点主義と言った日本国民固有のメンタリティーを変えることは中々難しいことではあります。私たちは、まず、自分の強みを正しく把握し、仕事の中でどのように強みを活かすかを習慣的に考えることで、自己肯定感を高め、自信を持つことが大切ではないでしょうか。今後ますます混沌の度合いを深める情勢の中で、企業経営者は良い意味での楽観主義をもって、次のステップに踏み出す勇気が試される時代であると言えます。

二点目は、「失敗を許容すること」についてです。本田宗一郎は失敗について、「私がやった仕事で本当に成功したものは、全体のわずか1%にすぎない。99%は失敗の連続であった。そして、その実を結んだ1%の成功が現在の私である。チャレンジして失敗を怖れるよりも、何もしないことを怖れる。」と語っています。しかしながら多くの日本人は、「失敗は恥、減点の対象」と考えてしまいがちであり、無意識に失敗を恐れ、前に一歩に進むことを躊躇しがちであります。

一方、アメリカではNASAがスペース・シャトルチャレンジャー号爆発事故を真正面から受け止め、失敗を発展の糧にすることを「文化」として取り組んでいると聞きます。また、スタートアップ企業への投資では、投資家を前に起業家が失敗談を語ることも珍しくありません。こ

うしたアメリカの事例から、革新的なイノベーションを生み出すためには、失敗を恐れずチャレンジし続ける人材の育成と、失敗を受け入れる組織文化の確立をうまく両立させていくことが極めて重要であると考えております。

乱暴に言えば、わが国はグローバルな競争力を持った大企業を優秀な中小企業が支え、優秀なものづくり、繊細なサービスを提供することで経済成長を遂げ、その結果、十分なエネルギーと食糧を得てきたという歴史的な経緯を有しておりますが、この変化の時代に将来を見据えた一歩を踏み出さなければ、当たり前の日常も崩れていくという危機意識を持った経営者の実行力が今こそ試される時ではないかと感じています。

最後に、本会の事業運営について申し上げます。

事業活動につきましては、昨年も経営者向けのトップセミナー、特別セミナー等に加え、各種委員会、研究会活動など、その内容を充実・強化してまいりました。これも偏に会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。本年につきましても、こうした取り組みをさらに充実させて、総合経済団体としての機能・役割を充実させ、会員の皆様に少しでもお役に立つ事業の企画・運営をしてまいります。

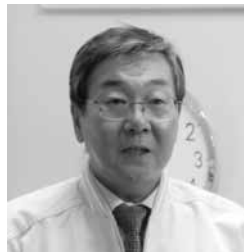
結びに、会員の皆様方の本年のご健勝と事業の益々のご発展を祈念し、年頭の挨拶といたします。

平成二八年度  
西部地区  
協議会  
秋季協議

『ボッシュ 栃木工場視察会』  
講演「ボッシュにおけるインダストリー4.0」と施設見学を開催

十一月十日(木)の平成二八年度秋季西部地区協議会では、ボッシュ(株)栃木工場において「ボッシュにおける

インダストリー4.0」のご講演と施設見学会を開催し、十六名の方に参加いただきました。



満岡隆一 議長  
開会挨拶をする



「ボッシュにおけるインダストリー4.0」の講演風景



参加者全員での記念撮影



佐野博文氏  
栃木工場の概要を説明する



積極的に質問が出された

ボッシュ(株)は世界最大の自動車部品メーカーであり、ドイツが推進している「インダストリー4.0」の代表格でもあります。ドイツ・アメリカ・日本の3拠点で自動運転の開発に取組んでおり、今年の6月には、5年後の自動運転社会を想定した「コネクテッドカー」を日本で初めて公開しました。同社は、あらゆるモノがインターネットに繋がる「IIoT」の頭脳とされる温度・湿度、圧力や傾きなどを感知するMEMSセンサーのトップ企業でもあります。また、同社は、メーカーとしては屈指の規模の1万5千人以上のソフトウェア技術者を抱える強みを生かし、センサー、デバイス、システム等を核とした自動運転関連技術をモジュール化して、車メーカーだけでなく幅広い企業に供給することを目指しております。

目次 頁

- 新春所感 一
- 秋季地区協議会(西部・南部・北部)・目次 二〜四
- 産業教育フェア 四
- 第九回・第十回トップセミナー 五
- 第十一回トップセミナー 六
- 第二回ウーマノミクス推進委員会 七
- 第二回産業教育委員会 七
- 第三回産業教育委員会 八
- 第二回人事労務委員会 八
- 第二回グローバル委員会 八
- 第三回グローバル委員会 九
- 第三回CSR委員会 九
- 平成二八年度働く女性応援講座 十
- 青年経営者部会ゴルフ大会 十一
- 青年経営者部会ゴルフ大会 十二
- 青年経営者部会全国大会in堺 十二
- 新入社員フォローアップ研修の追加開催 十三
- 埼玉大学研究者との出会いの広場 十四
- ものづくり大学へようこそ 十五
- 謹賀新年(紙上名刺交換会) 十六〜十八
- 企業経営動向調 十九〜二一
- 会員親睦ゴルフ 二二
- 埼玉県からのお知らせ 二三
- 低成長時代の就業規則の見直し・改定のポイント/ワンポイント労働法 二四〜二六
- 日本経団連の動き 二七
- 事業だより、広告 二七
- 告知版、会員の動き 二八

◇施設見学概要

当日は、西部地区協議会満岡隆一議長（ボツシユ(株)取締役専務執行役員）から開会挨拶、「ボツシユにおけるインダストリー4.0」のご講演をいただきました。その後、栃木工

場長の佐野博文氏より栃木工場の概要説明を受けた後、工場ラインの見学を行いました。  
見学終了後の質疑応答では多岐にわたる質問が積極的に出され、終始活発な意見交換が行われました。

平成二八年度  
秋季南部地区協議会

『JR東日本 大宮総合車両センター視察会』を開催

十一月十八日(金)の平成二八年度秋季南部地区協議会では、東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センターにおいて、「鉄道車両のメンテナンス技術と歴史を学ぶ」をテーマに視察会を開催し、二十名の方にご参加いただきました。

東日本旅客鉄道(株)大宮総合車両センターは、一八九四年に日本鉄道(株)業務部汽車課として設立されて以来、二〇年以上にわたり、大宮の地において鉄道車両のメンテナンスや新造・改造を行っています。対象とな

る主な車両は首都圏を走る通勤車両や特急車両ですが、JR東日本管内のSL列車の修繕もここで行われています。通常、通勤・特急車両は各車両センターで定期検査を受けていますが、約三年に一回の割合で大宮総合車両センターに移され、二週間から一ヶ月程度かけて詳細な検査・修繕が行われています。大宮総合車両センターには、長年に渡って蓄積された高いメンテナンス技術と鉄道車両の歴史が集約されており、老若男女を問わず多くの鉄道ファンに人気の施設となっています。



開会挨拶をする牛窪啓詞議長



挨拶をする阪本未来子氏

当日は、南部地区協議会 牛窪啓詞議長（(株)愛工舎製作所代表取締役会長 本会副会長）から開会挨拶を行い、続いて、東日本旅客鉄道(株)執行役員大宮支社長 阪本未来子氏（本会副会長）から挨拶をいただきました。その後、大宮総合車両センターの概要について説明を受けた後、車輪や車体の検査・修繕エリアをはじめとする様々な整備施設の見学を行いました。  
見学終了後の質疑応答では、修繕



大宮総合車両センターの概要説明を受ける参加者



車両点検の様子を見学(車体A棟)



高圧電流を流しての作業



修善中のSL 前での記念撮影



SL 修善の様子を見学(車体C棟)



安全確保のため、車体の下で作業中は旗を掲出している



工具を置き忘れないよう工夫がされていた



特急や急行列車の「ヘッドマーク」(資料館)



「製造所銘板」(資料館)

にかかる経費や関連企業との人材交流の状況、女性技術者の就業割合等

多岐にわたる質問が出され、終始活発な意見交換が行われました。

平成二八年度  
秋季北部地区協議会

『(株)シエリエ 上里カンターレ 視察会』を開催

十二月六日(火)の平成二八年度秋季北部地区協議会では、(株)シエリエ 上里カンターレにおいて、「南イタリアのリゾートホテルをイメージしたスイーツ専門大型施設を見学する」をテーマに視察会を開催し、十

七名の方にご参加いただきました。(株)シエリエは社長の高橋 博氏が八六年に創業し、ホテル他、全国有名洋菓子店向けOEM生産等による事業拡大を経て、二〇〇八年二月に、



開会挨拶をする橋元健議長

経営理念の「お客さまが楽しみ、かつろぎ、癒すことができる豊かな時間・空間と、洋菓子を楽しむ食文化を提供すること」を具現化すべく、既存の直販工場と大きくイメージの異なるヨーロッパの閑静な邸宅をモチーフにしたスイーツ専門大型施設「花園フォレスト」を開業しました。「薔薇とスイーツのテーマパーク」として人気を博し、ローズガーデンの美しい薔薇を鑑賞しながらお好みのスイーツを楽しむ人気施設として、県外からも含め年間約二百万人の方が訪れる観光スポットになっています。

今回の視察では、スイーツ専門大型施設の第二弾として二〇一五年十一月に関越自動車道上里スマートIC隣にオープンした上里カンターレを見学しました。

当日は、北部地区協議会 橋元健議長（キヤノン電子(株)取締役副社長）から開会挨拶を行った後、施設見学を行いました。続いて、「当社の事業戦略と今後の展開について」と題し、(株)シエリエ 社長室室長 藤野晃一氏からご講演をいただきました。講演では、「経営の安定とリスク分散のための三つの戦略」として、商品・販売先・業態それぞれの多様化を図り、リスクを分散化させ

本会が共催した「第二十六回埼玉県産業教育フェア」が埼玉県教育委員会と埼玉県産業教育振興会の主催により十一月五日(土)から六日(日)の二日間の日程でさいたま市のソニックシティをメイン会場に開催された。

「未来の産業を築き輝く日本を創り出そう」と題して専門高校等の生

徒による学習成果発表と「高校生によるサイエンスフェア」が同時開催され、二日間の来場者は一七、〇〇〇人にのぼった。

開会式では当会会長 上條正仁をはじめ(公財)埼玉県産業文化センター事務局長 吉田幸司氏(公財)埼玉県産業振興公社理事長 織田秀

# 本会共催 第二十六回 埼玉県産業教育フェア開催



多くのバウムクーヘンが焼き上がった



バウムクーヘン焼成風景を見学



スイーツ&ギフトコーナー等店舗内見学



秋季北部地区協議会 講演の様子



講演をする(株)シエリ工藤野晃一氏



建物2階のテラスからは、ハウス栽培施設やIC周辺の様子を見学

ることで経営の安定化が図れるとともに、様々な手法を模索する中で、多様化する顧客ニーズへ対応するための新たな経営のヒントが得られる旨のお話をいただきました。また、今後の新たな挑戦として、野菜や果物の摘み取り体験など体験型施設としての魅力を高め、「農と食のテーマパーク化」を推進するとともに、将来的には温泉や公園の整備も含め、地域住民の憩いの場を兼ねた観光地化を目指されているとのことでした。

講演後の質疑応答では、大型の誘客及び施設の認知度を上げるための手法やOEM生産の状況、採用活動に至るまで様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。



稲田雅彦氏



開会式の様子

明氏、埼玉県産業教育振興会長 大野松茂氏、教育関係では県教育長 関根郁夫氏、専門高校長会副会長 石川薫氏が参加され盛大に行われた。

開会式後は、(株)カブク 代表取締役 兼CEO 稲田雅彦氏を招き、「IoTがつくる未来図〜モノのデジタル化がおこす未来〜」と題した基調講演が行われた。

稲田氏は大阪府に生まれ、東京大学大学院でコンピュータサイエンス(人工知能の研究に従事し、卒業後、博報堂入社、さまざまな業種の新規事業開発、統合コミュニケーション戦略・クリエイティブ開発に携わり、平成二十五年に代表取締役を務める株式会社カブクを設立したという経歴を持つ。デジタルなモノづくりの

アイデア弁当コンテストで昨年度に教育長賞を受賞したお弁当を販売



三郷工業技術高校 ミニ新幹線乗車体験



高校生が作った商品・農作物の販売と作品展示



アイデアロボットコンテスト



鴻巣女子高校家政科 実践的職業教育グローバル事業によるファッションショー



実践的職業教育グローバル事業「商品開発力交流分野」中間発表会



分野でスタートアップ(\*)として起業した。グローバルに3Dプリンタをもつ工場をネットワーク化し、企業や個人に立体成型サービスを提供している。3Dプリンタをもつ三ヶ国以上数百の工場のどこでつくるか、AIが瞬時に適した工場を割り出して生産を開始するサービスにより、3Dデータがあればなんでも1クリックで個人でもモノがつくれる世界をつくることを目指し、経営に取り組んでいる。会社では日米独など多国籍の社員およそ二十五名がソフト開発に従事している。その功績

は世界で評価されカンヌ、アドフェスト、ロンドン広告祭、東京インタラクティブ・アド・アワード(TIAA)など、多数の受賞をされている。講演の冒頭で同氏は、自身の高校時代にバンドやDJなど興味のあることに没頭していたことを振り返り、いま思うと起業したきっかけは、興味のあることにチャレンジしてきたこと、出身の東大阪がものづくりの街で身近に工場が多く、日常からつと工場を元気にできないかと考えていたことが大きいという。起業はたった二人からスタートした。自分

一人では何もできない、思いと計画を語りそこに共感する人が最低一人はいないと三人四人と増えない。ベンチャーは人の思いで始めるものである。常に三方よし完り手よし、買手よし、世間よし)の精神で企業を経営している。自己実現×社会的意義(自分以外の誰かのために)。起業して一番強く感じたことだという。

最後に「日本でも失敗した人を称賛してくれるという文化が出来つつある。スタートアップ企業は何回でも挑戦できるし、皆さんにも是非挑戦してほしい。リングに上がるのが大事なこと」という稲田氏からのメッセージに参加した高校生達は熱心に耳を傾けていた。

また、各会場では専門高校等による作品展示、体験コーナー、コンテスト、各種発表、フアッションショー、ミニ新幹線乗車体験、実践的職業教

育グローバル事業中間発表会、JRD大宮駅西口イベントスペースでは生徒開発商品・農産物の販売が行われ、高校生によるサイエンスフェアでは高校生による小中学生のための科学教室、ポスター発表が行われた。

本会は今後とも教育界と地元産業界の連携強化に努め、本県の次代を担う若者の育成に尽力する所存である。関係企業の皆様の一層の御協力をお願いしたい。

#### (\*) スタートアップ

比較的新しいビジネスで急成長し、市場開拓フェーズにある企業や事業。非常に高い率で成長し続けるビジネス形態で、会社の規模や設立年数は関係ない。スタートアップする起業家は、今までに無いイノベーションを起こし世の中を変える事を目的としている。日々の安定した収益と長期成長を目指すモールドビジネスのベンチャー企業と比べても大きな違いがある。

## 平成二八年度第九回トップセミナー

### 『オムニチャネル時代のマーケティング戦略』と題し、中央大学大学院戦略経営研究科教授 田中 洋氏が講演

近年、各種メディアで「オムニチャネル」という言葉の頻出度が高まっています。この言葉の浸透スピードが驚くほど速いのは、EC(Commerce)、いわゆるネットでの購買が急速に普及しているからにはかなりません。

また、従来から展開しているリアル店舗への誘客やその後のネット店

ているとの予測も出ており、オムニチャネル時代のマーケティング戦略は、今後ますます重要性を増していきます。

こうした状況を踏まえ、十一月二十五日(金)の平成二八年度第九回トップセミナーは、マーケティング戦略論や消費者行動論の第一人者である、中央大学大学院戦略経営研究科 教授 田中 洋氏を講師としてお迎えし、『オムニチャネル時代のマーケティング戦略』と題して大宮ソニックスティイ四階市民ホールにて開催し、二五名の方が参加されました。講演の概要は以下のとおり。

#### ◇講演概要

・「オムニチャネル」とは、「消費者がモノを買う時に、すべて(オム

ニ)の販売経路(チャネル)を継ぎ目なく(シームレスに)ストレスなく買えるようになるための環境」であり、「いつでも、どこでも、好きな時に注文できて、好きな時に好きなところで受け取る」とができる、「絶対顧客主義」とも表されている。

従来のマルチチャネルは、複数のチャネルを顧客に合わせて使い分けていたのに対し、オムニチャネルでは、顧客を中心にすべてのチャネル(店頭、通販、ネット、モバイル、SNS)を連携させて顧客へのアプローチを行う点で違いがあり、顧客が行う商品の検索・購入・受取・返品等の行動が、どのチャネルを通してでも可能な、顧客にとって理想的な形といえる。

特に、「セブン&アイHD」では、セブンイレブンの流通網と店舗数を活用した「omni」を展開しており、販売実績においても効果を発揮している。

・オムニチャネル化が企業のマーケティング戦略として加速する背景

## 平成二八年度第十回トップセミナー

### 『この人についていききたいと思われるリーダーになる(部下を活かすリーダーシップの真髄)』と題し、ビジネスコーチ(株)パートナーエグゼクティブコーチ 夏目俊希氏が講演

十二月五日(月)の平成二八年度第十回トップセミナーは、部下の自発的な行動を促し、孤軍奮闘型のリーダ

には、顧客行動や競争環境、消費環境のグローバル化による変化がある。顧客は、口コミやレビューを参考に店頭とネットで価格や品質を比較し、有名人の評価にも決定を左右される。また、企業側もモバイル会員限定クーポンやデジタルチラシを通じて、ネットからリアル店舗への顧客誘導(Online to Offline)を効果的に活用している。中国での越境EC市場も、2020年には二兆円規模に達する見込みで、今後ますます活発化することが予想される。

・オムニチャネル時代のマーケティング戦略は、小売業にとどまらず、多くの企業の経営にとって重要なテーマである。オンラインで訴求力のあるポジショニングとコミュニケーションを図り、適正な在庫管理による顧客の購買機会ロスを防いで顧客からの信頼を得る。また、すべてのチャネルで商品の購入・受取・返品等の対応を可能にし、顧客の利便性を向上させることがオムニ化には求められる。

ーからチーム一丸となって攻めることのできる強いチームを目指すため、ビジネスコーチ株式会社パートナー



第9回トップセミナー



講演する田中 洋氏



講演する  
夏目俊希氏

エグゼクティブコーチである夏目俊希氏を講師としてお迎えし、「この人についていきたいと思われるリーダーになる」部下を活かすリーダーシップの真髄」と題して大宮ソニックシティ四階市民ホールにて開催し、四九名の方が参加されました。

夏目氏からは、部下を年齢や印象など自分の尺度で判断するのではなく、部下と自分の行動タイプを認識し、それに沿った形で日頃から対話を重ねて関係の質を高めることで、部下がついていきたいと思いますという関係性を築くことができるとのお話しをいただきました。

講演では、各自が日頃の行動を振り返り、チェックリストから自分の行動タイプを「現実派」、「社交派」、



第10回トップセミナー

「友好派」、「理論派」のいずれの傾向が強いのかを確認した上で各タイプの属性を学ぶとともに、グループ内で意見交換を行い、一人一人考え方や行動が異なることを改めて認識されていました。

講演の概要は以下のとおり。

◇講演概要

・ビジネスコーチングにおけるリーダーにとつての成功とは、自身の成長ではなく、他人を成長させることである。そのためには、まず上司である自分を見つめ直し、これまでの思考の枠（固定観念や思い込み等）を広げる努力が必要である。

・部下との対話や質問を重ねて思考の枠を広げることにより、今までとは異なる自由な発想が生まれるなど、組織の成功循環モデルが形成され、チームメンバーの成長も促される。

・人は、「自己主張レベル」と「感情表現レベル」の行動特性から、「現実派」、「社交派」、「友好派」、



グループ内意見交換の様子

「理論派」の四つのタイプに分かれる。それぞれに特徴があるため、チームメンバーの行動タイプを把握し、相手のタイプによってコミュニケーション方法を変え、部下の能力を活かすことができる。

・また、部下を「モチベーション」と「スキル」の観点からマトリク

平成二八年度第十回トップセミナー

『二〇一七年の世界経済、日本経済を展望する』と題し、(株)第一生命経済研究所 経済調査部 永濱利廣氏が講演

グローバル化が急速に進行する中で、企業経営の舵取りを担っていく上では、日本経済の動向とともに、世界経済の動向から目を離すことはできません。

そこで、十二月七日(水)の平成二八年度第十回トップセミナーは、日本を代表するエコノミストの一人である、株式会社第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミスト

永濱利廣氏を講師としてお迎えし、『二〇一七年の世界経済、日本経済を展望する』と題して大宮ソニックシティ四階市民ホールにて開催し、



講演する  
永濱利廣氏

スで考え、タイプ別の特徴を理解し、それぞれに合わせた育成メソッドを構築することが、効果的な人材育成につながる。

・部下はリーダーの振る舞いをよく見ている。部下の話聞き、進歩を認めて承認し、成長を促すことが互いの関係の質を高める好循環を生む。

五十名の方が参加されました。

講演終了後には、原油価格や為替の見通しや、日銀の金融緩和策に関する質問が出され、来年度の事業計画策定に向けて、関心の高さが伺えました。

講演の概要は以下のとおり。

◇講演概要

《日本経済の見通し》

・二〇一七年の日本経済は、消費増税先送りや、景気対策としての国の第二次補正予算がGDPに与える影響として、六兆五千億円程度の上乗せ効果が期待される。

・国内の個人消費は底打ちの兆しがあり、為替や株価の行方がポイントとなるが、インバウンド消費には今後も期待が高まるなど、経済環境の改善が見込まれる。

《世界経済の動向》



第11回トップセミナー



多岐にわたる質問も出された

・世界のGDPの七割以上を占める主要地域（米国、ユーロ圏、日本、中国）の製造業景況指数は、約二年ぶりに全地域で好転しており、循環的に製造業の景気が上向いていると言える。そのため、リスクオンの状態であり、安全資産からリスク資産にお金流れやすく、円安・株高が進みやすい環境にある。

・一方で、世界経済の動向は、米国のトランプ次期大統領の政策の舵取り次第の部分もあるため、予測



第2回ウーマノミクス推進委員会



説明する  
埼玉労働局  
丸本将平氏



講演する  
藻谷浩介氏



開会挨拶をする  
埼玉労働局長  
田畑一雄氏



《事例発表》  
AGS(株)  
小森知子氏



《事例発表》  
株朝日ラバー  
澤田琢磨氏



《事例発表》  
日生流通運輸倉庫(株)  
樋口弘之氏



授業視察の様子



挨拶をする  
久喜工業高校  
大出校長



学科代表生徒との懇談

まず、授業見学・施設見学が行われ、その後、久喜工業高校の概要説明を行い、最後に教員・生徒との懇談。

専門高校で、「工業化学科」「環境化学科」「情報技術科」「電気科」「機械科」の五学科を有し、生徒の資質・能力を引き出し、ものづくりの「心」と「技」を鍛え、社会に有為な人材として多くの卒業生を輩出してきた伝統と歴史のある県立久喜工業高校の視察会を開催し、二十一名が参加した。

## 平成二八年度第二回産業教育委員会 —県立久喜工業高校を視察

女性が働きやすい職場環境を整備して働き手を増やすことは重要だが、若い男性が安心して早めの子育てに取り組めるキャリアシステムを構築し、男女共に子育てに参加できる環境を整備することも経営戦略として有効であるとお話をいただきました。後半の事例発表では、女性活躍に関する自社の現状を分析して課題を抽出し、行動計画を策定するまでの経緯について発表していただきました。発表の中では、具体的な目標や取組内容を紹介するとともに、半年間の進捗状況について触れ、社内から当初の想定を上回る反響があり、行動計画を策定することは、女性活躍推進の機運醸成に効果があるとお話がありました。

は非常に難しい。  
《中小企業の生き残り策》  
経済産業省では、IT技術やグローバル展開、デザイナーの有効活用により、商品開発や販路開拓に成功した中小企業の事例を公開している。芸術性やデザイン性の強

みを生かすのが最近の成功企業のトレンドである。海外展開を検討するにあたっては、生産年齢人口増加国にビジネスチャンスがある。一方で、リスクとリターンはトレードオフの関係にあるため、収益性との兼ね合いが重要である。

## 第二回ウーマノミクス推進委員会

### 「女性活躍推進セミナー」開催

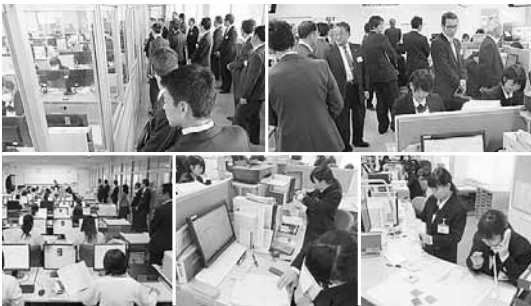
平成二八年四月一日に女性活躍推進法が施行されて半年が経過しましたが、女性の活躍推進は成長戦略の柱として注目を集めています。女性活躍推進の効果は、単なる労働力不足の補完ではなく、長年男性中心で働いてきた職場に従来になく多様な価値観をもたらし、新たなイノベーションを生み出す効果が期待されます。地域企業の経営戦略として、どのように女性活躍推進を進めていけばよいのでしょうか。

そのような観点から、十月三十一日(月)大宮ソニックシティ四階市民ホールにて、埼玉労働局と本会との共催で、第二回ウーマノミクス推進委員会「女性活躍推進セミナー」を開催し、九八名の方々が参加されました。当日は、まず田畑一雄埼玉労働局長の開会挨拶が始まり、続いて、「地域企業の経営戦略としての女性活躍

推進」女性活躍推進で地域活性化を！と題し、株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏による講演、次に、埼玉労働局雇用環境・均等室 丸本将平氏から「埼玉県内企業の女性活躍推進法行動計画策定状況」について説明が行われ、その後「我が社の女性活躍推進への取組みと行動計画」と題し、以下の三者の方々から自社の取組事例をご紹介いただきました。

#### 《事例発表》

- 日生流通運輸倉庫株式会社  
安全管理センター長 樋口弘之氏
  - 株式会社朝日ラバー  
人事総務グループ長 澤田琢磨氏
  - AGS株式会社  
エキスパート 小森知子氏
- 講演では、人口減少時代において、



授業視察の様子



挨拶をする  
大宮商業高校  
西垣校長

談が行われた。  
充実した教育環境の中で取り組む  
学生の姿にはものづくりの心と技の  
習得への意欲が溢れていた。  
生徒との懇談では、各学科を代表  
して来春就職が内定した五名の生徒

## 平成一八年度第三回産業教育委員会 ―県立大宮商業高校を視察―

平成二八年度第三回産業教育委員  
会は、十一月九日(水)午後、県南部の  
「商業科」の専門高校で、「生徒・

が出席、各自の就職体験等について  
意見発表が行われた。企業経営者か  
らの質問に答える各生徒の真摯な態  
度と確かな目的意識をもって学業に  
取り組んでいる姿勢に参加者一同感  
銘を受けた。

保護者・地域の満足度向上を追求す  
る学校」を目指す学校像に掲げる県  
立大宮商業高校の視察会を開催し、  
十一名が参加した。

まず、大宮商業高校の概要説明が  
行われ、その後、授業見学・施設見  
学を行い、最後に教員・生徒との懇  
談が行われた。

授業見学は、総合実践の授業を見  
学した。模擬実習として会社を設立  
し、コンピュータを利用して、3名  
一班で商品売場などの取引を行う授  
業であり、真剣な表情で学習に取り  
組む様子は、まさしく会社のオフィ  
スがそこにあるようであった。

生徒との懇談では、来春就職が内  
定した八名と進学が決定した二名の



学科代表生徒  
との懇談



## 第二回人事労務委員会

### 『一日でできる！人事評価制度実践セミ ナー―自社の評価基準・項目を自らの手 で作成する』を開催

各生徒の立派な発表姿勢、礼儀正し  
さ等、参加者一同感銘を受けた。

「評価制度を整備したい」、「社員  
数が増えたため、評価についての基  
準や項目を見直したい」、「自社の人  
事評価制度を作りたいが作り方がわ  
からない」といった中小企業の経営  
者の声をよく耳にします。しかし専  
門のコンサルタントに依頼し、自社  
で評価制度を構築するのは、莫大な  
時間とコストがかかるのが実情です。

こうした状況を踏まえ、十一月二  
一日(月)の平成二八年度第二回人事労  
務委員会では、人事制度の設計・運  
用に関する豊富なコンサルタントイン  
グ実績を有するビジネスコーチ(株)常務  
取締役 BCS認定プロフェッショ  
ナルコーチ 吉田 寿氏と、同エグ

ゼクティブコンサルタント伊藤善廣  
氏を講師としてお迎えし、『一日で  
できる！人事評価制度実践セミナ  
ー』を実施いたしました。当日は、  
大宮ソニックシティ四階市民ホール  
にて開催し、二十名の方にご参加を  
いただきました。

#### ◇セミナー概要

まず伊藤氏から、「人事制度導入  
の意義と目的」について詳細な説明  
をいただき、企業が抱える主な人事  
課題について、「人材」、「処遇・評価」、  
「組織」、「文化・風土」それぞれの  
視点から分析した具体的な事例を挙  
げられました。参加者は、それらを



ビジネスコーチ(株)  
吉田 寿氏



ビジネスコーチ(株)  
伊藤善廣氏



第2回人事労務委員会



グループ発表

参考に自社の人事課題を洗い出すと  
ともに、課題解決のポイントについ  
て学びました。また、経営戦略にお  
けるリーダーシップの重要性につい  
て理解を深め、リーダーとマネー  
ジャーの役割の違いや、リーダー人材  
に求められる資質を学ぶとともに、  
自社の人材を振り返り、今後の経営  
戦略実現に必要な人材のイメージに  
ついて認識を新たにいたしました。

セミナー後半では、前半の講義を  
踏まえ、評価制度を人材育成に活用  
するための「人材を成長させる評価  
制度と運用の仕組み」について吉田  
氏から解説をいただき、自社の評価  
制度構築に向けた演習を行いました。  
演習では、各自の部下をイメージし、  
「目標達成評価」、「マインド評価」、  
「発揮能力評価」それぞれの視点か  
ら実際の部下に対する人事評価シ  
ートを作成しました。また、作成した  
評価シートについてグループ内で発  
表を行い、評価に関する疑問点や悩  
み、自社の評価制度の内容に至るま



で活発な意見交換が行われました。参加者は、他社の制度の内容等から、自社の評価制度を見直すヒントを得られた様子でした。最後の質疑応答では、部門を超え

た評価基準の設定や、評価者側の評価目標の統一方法など、多岐にわたる質問が出され、会社と社員を成長させる人事評価制度に対する関心の高さが伺えました。

## 平成二八年度第二回グローバル委員会

### JICAセミナー「JICAの海外展開支援事業を活用しよう」をテーマに開催

独立行政法人国際協力機構（JICA：Japan International Cooperation Agency）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として開発途上国への国際協力を行うとともに、途上国の社会経済の課題解決につながる製品・技術を持つ中小企業の海外展開に向けた、「基礎調査」「案件化調査」「普及・実証活動」を支援しています。

十一月二四日（木）の平成二八年度第二回グローバル委員会は、新たに成

長が期待される開発途上国への事業展開を既に実施または検討中の企業も多いことを踏まえ、JICAの全面的な協力をいただき、本会との共催で「JICAの海外展開支援事業を活用しよう」をテーマにJICAセミナーを実施しました。当日は、大宮ソニックシティ四階市民ホールにて開催し、十四名の方が参加され

ました。

セミナー概要は以下のとおり。

#### ◇セミナー概要

まず、JICAアフリカ部参事役 吉澤 啓氏にご登壇いただき、「ODAを通してみるアフリカ経済の成長性」についてご講演いただきました。吉澤氏は、今年八月にケニアにて開催された「第六回アフリカ開発会議（TICADV）」について触れ、JICAでは、採択された『ナイロビ宣言』での日本の今後の支援策に基づき、産業人材の育成をはじめ、質の高いインフラ整備や保健システムの構築等、民間ビジネスの環境整備を含め引き続きアフリカの開発に貢献していくとお話がありました。次に、JICA東京市民参加協力

第一課課長 杉村悟郎氏による「JICA中小企業支援メニューの紹介」では、ODA事業に有益と考えられる製品・技術分野の具体例や途上国の課題を挙げ、途上国の開発ニーズと中小企業の製品・技術のマッチングを支援する支援策について説明していただきました。

続いて、アフリカ人研修員 ベケレ・テオドロス氏（エチオピア）から、「アフリカ人留学生の日本企業への提言」を発表していただきました。ベケレ氏は、五年間で千人のアフリカの若者に対し日本の大学での教育に加え、日本企業でのインターンシップを行う「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）」により

から「ルワンダにおける算数ソフト教材の製品特性を生かした事業展開へ向けての現地調査状況」について、(株)日本テレソフト 代表取締役社長 金子秀明氏から「スーダンにおける視聴覚IT機器整備と教育・就業支援事業の取組事例」について、JICAの「案件化調査」を活用した事例報告がありました。

来日されました。ベケレ氏は、アフリカで事業を展開する上で必要なポイントについて触れ、現地に足を運びアフリカが何を望んでいるのかを考え、進出地域で最も影響力のある人物とのつながりを持つことが効果的であるなど、アフリカ人ならではの視点から提言をいただきました。

横山氏と松山氏は、経済成長が著しいルワンダビジネスの可能性について触れた後、自社の小学生向け算数教材ソフトを使用した調査結果を報告し、現地の子どもたちに一定の学習効果が見られたことから、現地に足を運び相手のニーズを的確に把握して事業展開に生かすことの重要性について指摘されました。金子氏からは、スーダン共和国の視覚障害者の教育・就業機会改善による途上国支援のため、点字プリンター市場への参入を目的とした調査結果について報告があり、将来ODAとして事業展開するには、より多くの現地組織にPRを行い需要を高める必要があるが、今回の調査により今後の可能性が見出されたことから、チャレンジすることの重要性について触れられました。

最後に、(株)さくら社 代表取締役社長 横山駿也氏及びリソースサプライ合同会社 研究員 松山匡延氏

から「ルワンダにおける算数ソフト教材の製品特性を生かした事業展開へ向けての現地調査状況」について、(株)日本テレソフト 代表取締役社長 金子秀明氏から「スーダンにおける視聴覚IT機器整備と教育・就業支援事業の取組事例」について、JICAの「案件化調査」を活用した事例報告がありました。

## 平成二八年度第三回グローバル委員会

「サービス産業海外展開のナレッジを共有し、態を超えたネットワークを構築しよう」と題し、グローバル・サービス実践塾in埼玉を開催

十一月二八日（月）の平成二八年度第三回グローバル委員会は、国内市場

の縮小を受け、サービス産業においても海外を視野に入れたビジネス展



第2回グローバル委員会



発表する  
ベケレ・テオドロス氏



説明する  
JICA 杉村悟郎氏



講演する  
JICA 吉澤 啓氏



《事例報告》  
(株)日本テレソフト  
金子秀明氏



《事例報告》  
リソースサプライ合同会社  
松山匡延氏



《事例報告》  
(株)さくら社  
横山駿也氏



第3回グローバル委員会



講演する  
JETRO  
北川浩伸氏



開会挨拶をする  
埼玉県産業労働部  
参事兼副部長  
渡辺 充氏

開が重要と言われていることを踏まえ、ジェトロ関東、埼玉県と本会の共催により、埼玉県で初めて「グローバル・サービス実践塾」を開催しました。

「グローバル・サービス実践塾」は、日本のサービス産業海外展開のナレッジを共有し、業態を超えたネットワークを構築することを目的として、サービス産業経営者有志により組織されました。当日は、浦和口



交流会開会の挨拶をする  
埼玉県産業労働部長  
立川吉朗氏



《事例発表》  
株式会社スピリッツ  
生田智志氏



《事例発表》  
キュービーネット  
ホールディングス(株)  
北野 泰男氏

イヤルパインズホテル四階ロイヤルプリンセスにて開催し、九十名の方が参加されました。

まず、渡辺 充埼玉県産業労働部参事兼副部長にご挨拶いただき、続いて、わが国のサービス産業グローバル化推進の立役者である、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）サービス産業部長 北川 浩伸氏から、「サービス産業のグローバル化のいまとこれから」と題して講演いただきました。北川氏からは、「日本のGDPに占めるサービス産業の割合は七二%と高く、マーケットで重要な位置を占めている。一方で、人口減少により国内市場が縮小傾向であることに伴い、新たな海外市場の開拓を目的としたアジアへの進出を検討する企業が増加



《交流会》積極的な交流が行われた



様々な質問も出された

している。海外進出にあたっては、経営者自らが様々な国や地域に実際に足を運んで現地を確認することも、「親日度」を把握することも重要な戦略ポイントとなる。ジェトロとしても様々な支援事業のスキームがあるので活用してほしい。」とのお話をいただきました。

続いて、既に海外外出店が百店を超えたQBハウスグループトップのキュービーネットホールディングス株式会社 代表取締役 北野 泰男氏と、国内九店、海外十六店を経営する、煮干しラーメン風で有名な株式

会社風スピリッツ 代表取締役社長 生田 智志氏の両氏から、海外進出には立地や法規制等現地事情に詳しいパートナーの確保が重要であるとして、その相手選びのポイントや、時間や資金に余力を持ち、海外進出を任せられる人材を育成することも重要であるなど、自身の失敗体験を交えて海外進出事例を発表していただきました。

セミナー終了後には、講師、事例発表者を囲んだ交流会を開催し、積極的なネットワーキングが行われました。

### 平成二八年度第三回CSR委員会

## 『埼玉県障害者雇用促進セミナー』を開催

平成二八年四月一日から、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）及び、障害者の要望に過度な負担にならない

い範囲で応じる「合理的配慮」を義務付けた改正障害者雇用促進法が施行されました。また、改正障害者雇用促進法により、平成三十年度から



《事例発表》  
フラインター三信(株)  
小林雅也氏



《事例発表》  
社会福祉法人至福の会  
大野紗織氏



説明する  
鍵和田幹夫氏



講演する  
巽 新吾氏



開会挨拶をする  
埼玉労働局  
平川雅浩職業安定部長

精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置が講じられ、加えて法定雇用率の改正が見込まれるなど、企業が障害者雇用を進める環境が大きく変化しつつあります。

こうした状況を踏まえ、十一月二十九日(火)の平成二八年度第三回CSR



第3回 CSR 委員会

喪失や治療の長期化等多くの弊害を伴うため、障害に対する周囲の理解と、相談しやすい雰囲気醸成するなど、さりげないサポート体制を構築し、社会の中で育てる気持ちで雇用することの重要性について語っていただきました。

次に、「障害者を雇用するにあたって」として、埼玉県障害者雇用サポートセンター長 鍵和田幹夫氏から、改正障害者雇用促進法の施行により義務付けられた「合理的配慮」への対応について、障害者自らが申し出ることは難しい場合もあるため、事業主は支援機関を巻き込んで対応を検討することが重要であるとのご説明をいただきました。

委員会では、企業の皆様に障害者雇用の一層の促進を図っていただくことを目的として、埼玉労働局、埼玉県、本会の三者共催により、大宮ソニックシティ四階市民ホールにて『埼玉県障害者雇用促進セミナー』開催し、九六名の方々にご参加いただきました。

### ◇当日のプログラム

まず、埼玉労働局平川雅浩職業安定部長にご挨拶いただき、その後公益財団法人西熊谷病院副院長 巽新吾氏から、「精神障害者の雇用定着について」と題し、ご講演をいただきました。巽氏からは、精神障害者の再発率は高く、再発により自信

今回は「管理職候補者研修(前期 I・II)」として、キャリアアコンサルタント 能勢ゆき氏を講師としてお招きしました。

一日目は「管理職候補者の上司」を対象に、将来管理職となる可能性のある女性部下への動機づけの仕方や日々のコミュニケーションの取り方の習得、二日目は「管理職候補者」を対象に、将来管理職となる場合に必要と考え方やコミュニケーションスキルを習得することを目的として、今年度新たなプログラムとして実施しました。

講義では、「女性管理職候補者の強みと弱み」、「上司から期待されていること」等をテーマにグループ演習を行い、女性管理職育成の共通課題を再認識しました。受講者は、他の受講者との意見交換を通じて上司と自分の関係を客観的に見ることで、より、管理職になるために必要な能力や心構えを確認できた様子でした。



働く女性応援講座  
「管理職候補者研修(前期 I・II)」

## 平成二十八年年度働く女性応援講座

### 『出前セミナー(川越・所沢・秩父)』開催

埼玉県キャリアアセンターと本会との共催で、十一月十六日(水)ウエスタ川越、二日(月)所沢市民文化センターミューズ、二日(水)秩父地場産センターにおいて平成二十八年年度働く女性応援講座を開催し、合計二十名にご参加いただきました。通常の講座は、さいたま市にある「With you さいたま」での開催となりますが、今年度は県内各地で出前セミナーを実施しています。



働く女性応援講座  
「出前セミナー(ウエスタ川越)」

## 平成二十八年年度働く女性応援講座

### 『研修講師養成講座(キャリアデザイン研修)』開催

十一月十八日(金)、十二月二日(金)埼玉県キャリアアセンターと本会との共催で、平成二十八年年度働く女性応援講座を With you さいたまにおいて開催し、合計四十名にご参加いただきました。

今回は『研修講師養成講座(キャリアデザイン研修)』として、キャリアアコンサルタント 河崎理恵子氏を講師としてお招きし、キャリアデザイン研修の体験と実演を通じて、社内研修を実施するためのスキルを学ぶことを目的として、今年度新規のプログラムとして実施しました。

## 『管理職候補者研修(前期 I・II)』開催

九月十四日(水)、十月二日(金)埼玉県キャリアアセンターと本会との共催で、平成二十八年年度働く女性応援

## 平成二十八年年度働く女性応援講座



働く女性応援講座  
「研修講師養成講座（キャリアデザイン研修）」

一日目は、キャリアデザイン研修の体験と、自身が講師となって行う研修の実演に向けた準備を行い、二日目は、研修の実演をグループ内で行い、他の受講者からフィードバックを受ける形で進められました。受講者は、研修の実演を通じて、講師と受講者側の意識の違いに戸惑いながらも、講師の動きや研修の進め方のポイントを学び、自社内での研修実施に向けて意欲を見せていました。

## 平成二十八年度働く女性応援講座（第十二講）

### 『メンタル・マネジメント』開催

十一月二六日(土)埼玉県女性キャリアセンターと本会との共催で、平成二八年度働く女性応援講座を「Mental you」という名において開催し、四三名にご参加いただきました。今回は「メンタル・マネジメント」



働く女性応援講座（第12講）  
「メンタル・マネジメント」

をテーマに、キャリアコンサルタント 喜多朋子氏を講師としてお招きし、日常感じるストレスへの対処法や折れない心のつくり方を学ぶことを目的として、自身のストレス度合いのチェックやストレスコントロールに関する事例研究など、グループ演習を交えて講義が進められました。講義では、ストレスの種類や心身に与える影響を理解することの重要性や、自己分析を通じて自己理解を深めるとともに、他者を理解することでストレスを未然に防ぐことができることを学びました。また、ストレスと上手に付き合うためには、食事や睡眠、趣味の時間を大事にすることが効果的であることを再認識され、日常生活を振り返り、グループ内で活発な意見交換が行われました。

## 青年経営者部会

### 第三八回会員親睦ゴルフ大会開催 富澤慎太郎氏（サンフレッツ常務取締役営業本部長）が優勝

第三八回青年経営者部会会員親睦ゴルフ大会は、一月二日(水)鳩山カントリークラブにおいて、一二名が参加して開催された。ゴルフ大会の開催は七年ぶり、近年入会した新会員の方も多く参加された。開会式では、矢部利人実行委員長（丸和工業代表取締役社長）の挨拶、望月論実行委員（望月印刷代表取締役社長）のご紹介、ルール説明が行われた。会場となった鳩山カントリークラ



参加者集合写真：新メンバーも多く参加し懇親を深めた

## 青年経営者部会

### 第四一回経営者協会青年部会 全国大会in堺開催

ブは、池の魔術師」として名高い小林光昭氏設計によるクラブで、巧みに配置された池やバンカーと絡むシーンが多いため戦略性が高く、また、広々としたホールは、ティーインググラウンドからピンフラッグが望め、ゆったりかつ豪快プレーが楽しめる。

当日は、秋の美しい景色のパノラマの中、日頃の腕前を競った。結果は、富澤慎太郎氏（サンフレッツ常務取締役営業本部長）が優勝、準優勝は、浅野貴之氏（協和テック代表取締役）が受賞した。表彰式は、栗原志功部会長（あなただの幸せが私の幸せ代表取締役社長）の開会挨拶の後、表彰式に移り、各賞の表彰のスピーチが行われ、続いて賑やかな懇親会が行われた。プレーや懇親会を通して、普段の例会とは異なる環境で部会員の懇親を深める機会となった。

青年部会では、他県の部会との地域を越えた相互啓発や交流の機会として、二月二日(金)・二日(土)泊二日の行程で、第四一回経営者協会青年部会全国大会in堺のものほじまり何でも堺」に参加した。当部会からの参加は六名。貿易都市・商業都市として栄えた堺は、全国の経営者協会の中で唯一「市」単位で活動をしており、その堺経営者協会青年経営研究会が主管となり、全国から若手経営者を中心に二〇三名が参加し、過去最大規模での開催となった。第一日目のプログラムは、正副会長会議・全国大会式典・記念講演・懇親会・二次会の五部構成。

正副部会長会議では、今後二〇二一年までの全国大会の開催地が発表、承認された。続く全国大会では、堺青年経営研究会代表幹事の山野幹夫氏（㈱サカイ引越センター常務取締役）の主催者挨拶にはじまり、堺経営者協会会長の西村隆氏による歓迎挨拶、堺市長竹山修氏、堺商工会議所会頭前田寛司氏による来賓挨拶が行われた。記念講演は、ステイブ・ジョブズから直接アップル・ジャパンの代表に任命され、日本にApple旋風を巻き起こした伝説の経営者、㈱コミュニティニカ CEO/Founder、元アップル・ジャパン代表取締役社長山元賢

治氏が「グローバル時代に必要なり  
ーダーの資質」と題して講演。

山元氏は、IBMの開発製造部門  
からキャリアをスタートし、常に厳  
しいグローバル・カンパニーの経営  
現場で経験や知識を培ってきた。

様々な経験談や現在の取組みを交え  
て「グローバル経済下における日本  
企業の現状」「今後の日本が目指す  
べき復活の方向」「これからのリー  
ダーが持つべき新しい世界の常識や



懇親会・各地から230名の  
青年部部員が参加



記念講演・講演する  
株式会社CCEOの山元賢治氏

資質」などについて熱く語った。

参加者はその熱いエネルギーに巻  
き込まれるように聴講し「伝説の経  
営者」から「きづき・しげき・げん  
き」を直接いただいた貴重な機会と  
なった。

懇親会では、堺らしさ・大阪らし  
さをコンセプトに、天下の台所と言  
われた「なにわ」の食文化にまつわ  
る飲食ブースが用意され、賑やかに  
歓談が行われた。その後は関西で人  
気を博している夫婦漫才コンビの  
「かつみ・さゆり」、タレントの橋  
本マナミといった有名タレントを迎  
えての部会対抗のクイズ大会、堺火  
縄銃保存会による甲冑姿での観光P  
R、次回全国大会開催地である千葉  
経営者協会青年経営者クラブの皆様  
によるアピールタイムと続いた。最  
後はDJとダンサーによるダンスタ  
イムで賑やかに締め括られ、地域を  
越えた参加部会員同士で懇親を深め



講演後、講師との記念撮影

た懇親会は、盛会裏に終了した。

明けて二日目のプログラムである  
エクスカッションは、秋晴れの空の  
下、境を代表する名門コースである  
「泉ヶ丘カントリークラブ」でのゴル  
フコースと「歴史文化の町堺とく

だおれの町・水の都大阪観光  
コース」の二コースに別れて  
それぞれ盛大かつ和やかに行  
われ、二日間を通して、全国  
規模での部会員の相互啓発・  
交流の貴重な機会となった。

## 新入社員フォローアップ 研修を追加開催

参加申込み多数につき、新入社員  
フォローアップ研修を一月七日月、  
大宮ソニックシティで追加開催した。  
(合計で一九社九七名が参加)

【参加会社・組織】  
アイル・コーポレーション(株)①、(株)  
ウエルディングアロイズ・ジャパン  
①、(二社)さいたま住宅検査セン

ター②、(株)埼玉種畜牧場⑫、  
ジェコー(株)⑤、杉田電線(株)①、  
(株)青和運輸②、(株)大和不動産  
①、東京インキ(株)⑩、日神電  
子(株)②、富士プレキ工業(株)  
②、(株)雄飛堂②  
○の中の数字は、参加者数。  
合計四一名。



入社後半年、心構えやマナーの  
フォローアップに取り組んだ



他社のメンバーと熱心にグルー  
プワークに取り組みながら学び  
と刺激を得る

More For You  
もっと、街・暮らし・笑顔のために

武蔵野銀行

埼玉りそな銀行  
RESONA

りそなソーシャルメディアネットワーク

りそなグループのソーシャルメディア  
公式アカウントをご紹介します。

りそなグループでは、Facebook、  
Twitter、YouTube、LINEの  
ソーシャルメディアを通じて、  
情報発信を行っています。



# 埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ  
第98回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
埼経協 専務理事 根岸 茂文 ☎048-647-4100  
FAX048-641-0924

## 研究の内容

## 産業への展開



### 埼玉県次世代住宅産業プロジェクトに関わった数理科学者の端くれ 埼玉大学 工学部長/大学院理工学研究科 数理電子情報部門 情報領域 重原 孝臣 教授

本学のオープンイノベーションセンターの産学官連携推進部門から今回このコラムに一筆書くようにお話を承って、正直なところ戸惑いました。というのは、私が普段取り組んでいる研究は「大規模な数学の問題」をスーパーコンピュータなどの高性能計算機を使って解くためのアルゴリズム(計算手順)の設計・開発・実装・検証といった内容で、数理科学に関わることばかり。日常はもっぱら紙と鉛筆を使った計算とか、計算機の端末と睨めっこの生活。このコラムに最も相応しくない者のように感じました。ここ2年半余り、工学部長などという身に余る大役を仰せつかってしまい、立場上、学部の先生方には、実社会への応用を念頭において研究を進めていただいている産官金の皆様方との絆を強くするように努めてください、などとお願ひしつつも、自身の普段の研究生活を振り返るに、何か後ろめたい思いも少なからずございました。

そんな私ではありますが、研究室の桑島豊助教とともに、ここ2年程、埼玉県の「次世代住宅産

業プロジェクト」に関わらせていただきました。これまで無縁な分野でしたが、埼玉県産業振興公社の皆様からお声がけいただいて、「一定の条件を満たしつつ、コストをできるだけ抑えて消費エネルギーや二酸化炭素排出量をできるだけ少なくするための住宅の外皮や設備の組み合わせを半自動で算出する最適化システム」の設計・開発を承りました。県内を中心とする建設業者、住宅メーカー、建築CADソフト開発業者等々の皆様にご指導をたまわり、桑島助教の尽力もあってお陰様で「お試し版」をほぼ完成させるところまで何とかこぎつけることができました。

普段は「ああでもない、こうでもない」とウンウン唸りつつ、独り研究室にこもって修行僧のような生活を送ってばかりいた私にとっては、ご専門やお立場が異なる皆様とチームを組んで一つの目的に向かって突き進むプロセスはとても新鮮で、得難い経験をさせていただいたと深く感謝しているところです。

「第4次産業革命」が語られて久しくなります。今後、種々のシステム開発や意思決定のプロセスで数理情報系人材の果たす役割は益々大きくなることでしょう。日本でも数理情報系人材をどのような場面でのように活かしていくか、真剣に考える時期を迎えているように思います。研究に限らず、人材育成も含めて、お役に立てることがございましたら、どうぞお声がけください。微力ながら貢献したいと考えております。

学歴・略歴  
重原 孝臣

(しげはら たかおみ)  
1988年、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了、理学博士。2004年、埼玉大学工学部教授。2008年より現職。現在の専門は数値線形代数、ハイパフォーマンスコンピューティング。



### 臨床心理の現場から社会を考える

埼玉大学 教育学部 心理・教育実践学講座 堀田 香織 教授

不登校、ひきこもり、いじめ自殺、子どもの虐待など、現代社会では家族や子どもを取り巻く深刻な問題が噴出しています。私は臨床心理学領域の実践研究を専門としており、問題を抱える子どもたちの心理治療をしたり、親のカウンセリングをしたりしています。一方でこれらの問題を特定の子どもやその親の問題として治療したり矯正しようとするのみではなく、時代とともに変化する子どもたちと学校環境の有り方とのミスマッチによって起こる問題としてとらえたり、社会構造の歪みの現れとしてとらえる視点を大事にしています。

例えば、1970年代まで母子家庭で育つ子どもは学業成績が悪く、学校を落第しやすく、非行に走りやすいということが母子家庭と両親家庭の子どもを比較検討する心理学的調査で指摘され、父親不在と母子家庭の教育力の低さが問題視されてきました。ところが、その後、そこに経済的要因を加えて分析しなおすと、家族形態ではなく、経済的要因の方がより大きな影響を与えていることが分かってきました。つまり父親不在や母子家庭であること自体が致命的な問題なのではなく、母子

家庭の経済的困窮に目を向けた支援がなされなければならないということが明らかになりました。

社会の問題は、もっとも立場の弱い、もしくは、センシティブな人々の問題として顕現します。その顕在化した問題のひとつひとつと取り組みながら、多様な人が生きやすい社会にしていくことを私は目指したいと思っています。現在、私は埼玉大学教育学部の教員として学生とともに、母子家庭や里親家庭、不登校の子どもたちの家庭を支援しています。同時に、男女共同参画担当副学長という立場で、学内の多様な人々の力を最大限に活かすダイバーシティ研究環境の実現に取り組んでいるところです。



箱庭

多様なニーズに応える保育  
多様なニーズに応える学習支援  
社会的起業

学歴・略歴  
堀田 香織

(ほった かおり)  
1991年3月 東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程 単位取得退学  
虎の門病院心理療法室、東京大学学生相談所、東京大学大学院教育学研究科附属・学校臨床総合教育研究センターを経て、1999年10月より埼玉大学教育学部助教。2006年4月より同教授。2016年4月より埼玉大学男女共同参画担当副学長。

# 「ものづくり大学」へようこそ

連載  
第79回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
埼経協 専務理事 根岸 茂文 ☎048-647-4100  
FAX 048-641-0924



## 大学連携と地域連携による埼玉県加須市古民家改修プロジェクト

建設学科 三原 斉 教授

埼玉県加須市油井ケ島は、屋敷森の点在する農村風景を保っていますが、後継者問題・耕作放棄地はこの地域にも広がっています。加須市油井ケ島の新井家に隣接する石井家も廃屋となって久しくなっていました。2013年2月にものづくり大学三原研究室、工学院大学木下研究室、法政大学渡辺研究室の3大学3研究室の協働で新井家および石井家の実測調査を行い、報告書・実測図面集としてまとめました。実測調査を手掛かりに3研究室は古民家修復および再生の提案を検討してきましたが、2014年4月にこの土地を管理する農業生産法人・誠農社から新井家納屋1階の改修依頼を受けました。設計案、模型作成からセルフビルドによる施工まで3研究室が協働で作業しました(2015年3月竣工)。改修案作成にあたっては木構造の稲山正弘東大教授からもアドバイスをを受け、既存建築物の構造を補強する方法を検討しました。また、断熱性なども改善して居住性を高めました。内壁は漆喰塗り、外壁は中塗り土仕上げとし、伝統的な素材と工法を採用して歴史性にも配慮しました。この改修

工事は約100㎡のささやかなものですが、「大学連携と地域連携」という手法で地域を再生する可能性を示すことができました。

本プロジェクトは、大作業や左官の漆喰塗り壁作業など専門職である教員の指導を受けながら、3大学の学生が協働で施工に取り組んだものです。建築物を利用するNPOの方と漆喰塗りワークショップや現場での交流を持つことで、作業が進むごとに愛着が深まってきました。現在は、NPOで古民家カフェとして営業をしており、無肥料・無農薬の野菜、漢方農法米をいただくことができます。



↑解体作業



大作業+左官作業(上)、完成(下)

三原 斉(みはら ひとし) 建設学科 教授 一級建築士 一級建築施工管理技士 一級土木施工管理技士 近畿大学理工学部建築学科卒業、工学院大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)、村本建設株式会社建築部工事事務所長 同 購買課長 同 建築工務課長を経て、2001年よりものづくり大学に着任、現在に至る。専門分野: 建築生産、建築構法、建築施工管理技術者教育、建築技能者教育、など(連絡先 048-564-3852)



## 環境洗浄技術のネットワークを密に

製造学科 平井 聖児 教授

マイクロバブルは、水と種々のガス(オゾンなど)から生成することが可能であり、多大な比表面積と表面の帯電性および圧壊によるフリーラジカルの発生に由来する優れた物理的・化学的吸着能を有することから、経済的かつ低環境負荷であると共に、狭溢部への高い浸透力があるなどの利点があることは知られています。そして、このような特徴を利用して、機械部品などの高精度化、高機能化などに対応した、洗浄技術の研究、実用化が多く大学の大学および企業などで行われています。

一方、本研究室では、本学開学以来から、産学連携を重視し、高濃度マイクロバブル発生装置(図1参照:マイクロバブル発生の様子)を神奈川県の中小企業と共同開発し、その実用化を多く達成してきました。例えば、最近では、図2にあるように、ものづくり大学クリーンルームに設置した、高濃度オゾンマイクロバブル発生装置にて、低コスト、アッシングレス、酸使用レス、酸廃液レスおよびフッ素排水レスの半導体洗浄プロセス

の確立を目的として、ウエハ上の有機汚染、金属汚染除去の可能性を評価しました。最終的には、薬品不使用を目指したオゾンマイクロバブルによる半導体ウエハ洗浄の可能性を見出すことができました。

ぜひ、ものづくり埼玉の企業群との技術情報ネットワークを密にし、共同で、マイクロバブルによる高機能な洗浄効果を見出し、次世代の新製品の製造に貢献したいと考えています。

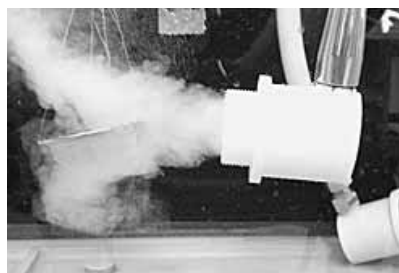


図1 マイクロバブル発生の様子



図2 ものづくり大学クリーンルーム

平井 聖児(ひらい せいじ) 教授・博士(工学) 東京都立大学大学院修士修了、(株)ニコン生産議技術本部などを経て、2009年よりものづくり大学 教授、現在に至る。専門分野: ナノ・マイクロ形状創成技術など(連絡先 048-564-3843)



# 謹賀新年



## 2017

紙上名刺交換会

到着順掲載

社  
長  
池田 一義  
株式会社 埼玉りそな銀行

代  
表  
取  
締  
役  
吉野 寛治  
吉野電化工業株式会社

代  
表  
取  
締  
役  
長  
岩池 博治  
株式会社 デサン

頭  
取  
加藤 喜久雄  
株式会社 武蔵野銀行

代  
表  
取  
締  
役  
長  
川本 武彦  
株式会社 サイサン

代  
表  
取  
締  
役  
牛窪 啓嗣  
株式会社 愛工舎製作所

取  
締  
役  
長  
原 敏成  
武州瓦斯株式会社

代  
表  
取  
締  
役  
長  
齊之平 伸一  
三州製菓株式会社

代  
表  
取  
締  
役  
長  
細 沼 哲夫  
日本伸管株式会社

代  
表  
取  
締  
役  
長  
松本 伸一郎  
株式会社 松本商会

代  
表  
取  
締  
役  
栗田 美和子  
株式会社 クリタエイムデリカ

取  
締  
役  
専務執行役員  
徳 淵 良孝  
日本信号株式会社





紙上名刺交換会

到着順掲載

社 代表取締役  
長  
日本地工株式会社  
玄間 敏

代 表 取 締 役  
大野建設株式会社  
大野年司

社 代表取締役  
長  
亀井産業株式会社  
亀井寿之

社 代表取締役  
長  
埼玉トヨペット株式会社  
平沼一幸

代 表 取 締 役  
株式会社中央デパート  
木村和男

代 表 取 締 役  
日本自動車管理株式会社  
三原宏治

社 取 締 役  
長  
武州産業株式会社  
小田切武久

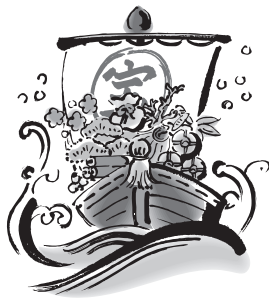
代 表 取 締 役  
積田冷熱工事株式会社  
積田鉄也

代 表 取 締 役  
株式会社コマーム  
小松君恵

社 代表取締役  
長  
埼玉機器株式会社  
大西義典

社 代表取締役  
長  
株式会社サイニチホールディングス  
橋本宏太郎

代 表 取 締 役  
長  
株式会社ピックスコーポレーション  
荻野芳朗



紙上名刺交換会 到着順掲載

代表取締役  
会 長  
菊池 勇  
ポータルイト株式会社

代表取締役  
C H O  
栗原志功  
株式会社あなたの幸せが私の幸せ世の為人の為人類幸福繋がり  
創造即ち我らの使命なり今まさに変革の時ここに熱き魂と愛と  
情鉄の勇氣と利他の精神を持つ者が結集せり日々感謝喜び笑顔  
繋がり確かな一歩とし地球の永続を約束する公益の志溢れる  
我らの足跡に歴史の花が咲くいざゆかん浪漫輝く航海へ

取締役  
社 長  
茂木通則  
坂戸ガス株式会社

代表取締役  
社 長  
原啓康  
株式会社丸善

社一般  
法人団 長  
埼玉県経営者協会  
専務理事 根岸 茂文  
職 員 一同

代表取締役  
社 長  
望月 諭  
望月印刷株式会社

代表取締役  
鳥羽瀬 建 男  
トバセ電気工事株式会社

総支配人  
小賀 手 敬  
浦和ロイヤルパインズホテル



# 企業経営動向調査（2016年度第3回〈16年10月調査〉）結果

## 調査概要

○調査対象	550社	○資本金別	
有効回答数	163社	●5000万円以下	78社
回収率	29.6%	●5000万円超～1億円以下	39社
○業種内訳		●1億円超～3億円以下	8社
●内製造業	76社	●3億円超	37社
●内非製造業	87社		

## 企業経営動向調査結果

### I. 景況判断 (DI=「上昇」-「下降」)

1. 国内景気 DI		16年7月	16年10月	
最近	全社	-14	-12	○最近の国内景気 DI は、製造業は16年7月比で横這い、非製造業は小幅ながら改善している。 ○先行きについては、製造業・非製造業とも悪化を見込んでいる。
	内製造業	-14	-15	
	内非製造業	-15	-10	
先行き (6カ月先)	全社	-13	-21	
	内製造業	-17	-24	
	内非製造業	-9	-18	

2. 業界の景気 DI		16年7月	16年10月	
最近	全社	-19	-11	○最近の業界景気 DI は、製造業は16年7月比で小幅の改善、非製造業は「+11」の改善となっている。 ○先行きについては、製造業は横這い、非製造業は小幅ながら改善を見込んでいる。
	内製造業	-21	-17	
	内非製造業	-17	-6	
先行き (6カ月先)	全社	-16	-11	
	内製造業	-16	-15	
	内非製造業	-15	-8	

3. 自社の業況 DI		16年7月	16年10月	
最近	全社	-6	4	○最近の自社業況 DI は、製造業は16年7月比で「+9」、非製造業は「+11」と改善している。 ○先行きについては、製造業・非製造業とも横ばいを見込んでいる。
	内製造業	-9	0	
	内非製造業	-4	7	
先行き (6カ月先)	全社	-2	-1	
	内製造業	-6	-4	
	内非製造業	2	2	

## II-1. 経営動向（売上高）

（注）16/7-9月期、10-12月期の上段の（ ）内の数値は16年7月調査時の見通し

1. 売上高 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	16/4-6	7-9	10-12	17/1-3	
全 社	-26	(6) 6	(21) 20	3	<p>○7-9月期の売上高 DI は、製造業は4-6月期比で「+23」、非製造業は「+40」と大幅に改善した。</p> <p>○今後の見通しは、10-12期は製造業、非製造業とも前期比好転を見込むが、1-3月期については悪化を見込んでいる。</p>
内 製 造 業	-26	(1) -3	(13) 20	-4	
内 非 製 造 業	-26	(10) 14	(29) 20	9	

2. 経常利益 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	16/4-6	7-9	10-12	17/1-3	
全 社	-25	(-1) 6	(16) 20	1	<p>○7-9月期の経常利益 DI は、製造業は4-6月期比で「+21」、非製造業は「+40」と大幅に改善した。</p> <p>○今後の見通しは、10-12期は製造業、非製造業とも前期比好転を見込むが、1-3月期については悪化を見込んでいる。</p>
内 製 造 業	-22	(-5) -1	(10) 23	-3	
内 非 製 造 業	-28	(2) 12	(22) 17	3	

## III. その他

1. 製品の在庫水準 DI （「過大」 - 「不足」）		16年7月	16年10月	
最 近	全 社	3	9	
	内 製 造 業	3	13	
	内 非 製 造 業	2	4	
先 行 き （6カ月先）	全 社	-4	-1	
	内 製 造 業	-1	1	
	内 非 製 造 業	-7	-4	

2. 生産・営業用設備 DI （「過剰」 - 「不足」）		16年7月	16年10月	
最 近	全 社	-4	-5	
	内 製 造 業	-1	-8	
	内 非 製 造 業	-7	-3	
先 行 き （6カ月先）	全 社	-9	-8	
	内 製 造 業	-7	-11	
	内 非 製 造 業	-11	-5	

3. 雇用人員 DI (「過剰」 - 「不足」)		16年7月	16年10月	<p>○最近の雇用人員 DI は、製造業、非製造業とも前回調査比悪化しており、非製造業の不足感は「-36」と相変わらず大きい。</p> <p>○先行きについては、前回調査比で非製造業は横這いを見込むものの、製造業は「-7」と人材確保が一層厳しくなると見込んでいる。</p>
最 近	全 社	-20	-29	
	内 製 造 業	- 8	-21	
	内非製造業	-31	-36	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-29	-34	
	内 製 造 業	-17	-24	
	内非製造業	-42	-43	

4. 資金繰り DI (「楽」 - 「厳しい」)		16年7月	16年10月	<p>○最近の資金繰り DI は、製造業、非製造業とも前回調査比横ばいであり、全体的に資金繰り繁忙感はでない。</p> <p>○先行き DI についても、全体として資金繰り繁忙感はみられない。</p>
最 近	全 社	14	15	
	内 製 造 業	13	12	
	内非製造業	14	17	
先 行 き (6カ月先)	全 社	14	14	
	内 製 造 業	12	13	
	内非製造業	17	14	

5. 販売価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		16年7月	16年10月	<p>○最近の販売価格 DI は、製造業は前回調査比で「+4」、非製造業は「+9」と改善している。</p> <p>○先行きについては、製造業は横這いながら、非製造業は前回調査比「+16」と大幅な改善を見込む。</p>
最 近	全 社	-10	- 3	
	内 製 造 業	-12	- 8	
	内非製造業	- 8	1	
先 行 き	全 社	-14	- 6	
	内 製 造 業	-15	-16	
	内非製造業	-12	4	

6. 仕入価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		16年7月	16年10月	<p>○仕入価格 DI は、最近、先行きのいずれも、前回調査比で製造業、非製造業ともに仕入価格が上昇しており、コストアップとなっている。</p>
最 近	全 社	4	12	
	内 製 造 業	5	11	
	内非製造業	2	13	
先 行 き	全 社	10	18	
	内 製 造 業	10	21	
	内非製造業	9	16	

第三回 上條会長杯争奪戦 会員親睦ゴルフ大会開催

優勝（上條会長杯）が総合

第三回上條会長杯争奪戦 会員親睦ゴルフ大会は、十二月二日（金）武蔵カントリークラブ笹井コースにおいて、二八名が参加して開催された。

朝のミーティングは、本会廣澤常務理事の司会進行で始まり、細沼哲夫競技委員長（日本伸管代表取締役会長）から開会挨拶があり、その後ルール説明が行われた。

当日は、天候にも恵まれ、プレーはアウト・イン同時にスタートし、日頃の腕前を競った。

上條会長杯（ダブルペリア方式）は、アウト五一、イン四四、グロス九五、ネット七三・四で及川佳久氏（関電工執行役員）が総合優勝し、上條会長杯を獲得した。



シニア優勝の上條正仁会長



グランドシニア優勝のCWM 総合経営研究所 杉田圭三社長

準優勝は、アウト四六、イン四九、グロス九五、ネット七三・四で須田隆文氏（藤電設代表取締役）が受賞した。

また、シニアは上條正仁氏（埼玉りそな銀行シニアアドバイザー）がアウト四九、イン五〇、グロス九九、ネット七三・八で優勝し、グランドシニアは杉田圭三氏（CWM総合経営研究所社長）がアウト四七、イン四九、グロス九六、ネット七四・四で優勝した。（主な成績は別表の通り）



上條正仁会長から優勝杯を授与される関電工 及川佳久執行役員（左）

その後、懇親会は、各賞を獲得された方々や初参加者のスピーチ等で盛り上がり、当初目的の懇親が図られた。

なお、次回は、六月二日（金）武蔵カントリークラブ豊岡コースで開催を予定している。

〈初参加者（7名）〉



エムザ 平田正博社長



日神電子 斉藤慶治取締役部長



東上ガス 清水宏之介社長



しんけん 丹野健社長



ニチアコミュニケーション 野神幸輝課長



秩父鉄道 赤岩一男常務



協和テック 浅野貴之社長

第3回上條会長杯 親睦ゴルフ大会主要結果

〈平成28年12月2日（金） 武蔵カントリークラブ 笹井コース〉

1. 上位入賞者（ダブルペリア／敬称略）

順位	氏名	会社名	役職名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	及川 佳久	関電工	執行役員	51	44	95	21.6	73.4
準優勝	須田 隆文	藤電設	代表取締役	46	49	95	21.6	73.4
3位	上條 正仁	埼玉りそな銀行	シニアアドバイザー	49	50	99	25.2	73.8
4位	日下部雅人	日進化成	常務	40	40	80	6.0	74.0
5位	杉田 圭三	CWM総合経営研究所	社長	47	49	96	21.6	74.4

ベスト	日下部雅人	日進化成	常務	40	40	80	6.0	74.0
-----	-------	------	----	----	----	----	-----	------

2. シニアの部

優勝	上條 正仁	埼玉りそな銀行	シニアアドバイザー	49	50	99	25.2	73.8
準優勝	河野 経夫	第一住宅	会長	52	50	102	27.6	74.4

3. グランドシニア

優勝	杉田 圭三	CWM総合経営研究所	社長	47	49	96	21.6	74.4
----	-------	------------	----	----	----	----	------	------



コバトン

# 埼玉県からののお知らせ

## 彩の国ビジネスアリーナ2017を開催します

県内をはじめ、広くビジネス展開に取り組む企業が集まる、国内最大級の展示商談会を開催します。新たな取引先や新商品・新技術に出会える、絶好のビジネスチャンスです。

当日は経営に役立つ講演会や、同時開催イベントも多数ご用意です。是非御来場ください。

- 日時 2月1日(水)10時～18時  
2月2日(木)10時～17時
- 場所 さいたまスーパーアリーナ

詳細はHPを御覧ください。

<http://bizmatchsaitama-jor.jp/>



「彩の国ビジネスアリーナ2016」の様子

### お問い合わせ先

埼玉県産業振興公社  
 (048-647-4086)  
 県産業支援課  
 (048-830-3910)

### 平成28年度埼玉県おもてなしセミナーを開催します

おもてなし宣言事業者などの関係事業者を対象に、第4回埼玉県おもてなし大賞受賞者の取組紹介等を盛り込んだセミナーを開催します。

是非御参加ください。

- 日程 1月30日(月)13時～16時
- 会場 浦和コミュニティセンター 1(パルコ9階) 第15集 会室

### 講師 玉井和博氏(大妻女子大学 新学部設置準備室教授)

※入場無料・事前申込み必要  
HP「おもてなし埼玉」で検索、又は<http://www.omotenashi-saiama.jp/>

- 問い合わせ先 県観光課 (048-830-3957)

### ハローワーク浦和・就業支援サテライトからの御案内

◎企業経営者・人事担当者向けセミナーを開催します

県内の企業向けに積極的に「シニア」の採用・活用に取り組んでいただけるよう企業経営者・人事担当者向けセミナーを2月16日(水)13時30分から開催します。

内容は「高齢者雇用と活用について」の基調講演をはじめ、高齢者が活躍している企業のトークセッション、公的支援制度の紹介等を予定しています。定員40名、参加費は無料、事前申込(先着順)です。詳細はサテライトまでお問い合わせください。

### ◎企業・仕事説明会

求職者と企業との出会いの場として、月1回程度、企業・仕事説明会を開催しています。

この説明会は、たくさんのお客様が一堂に会する合同企業説明会とは違い、1社ごとに企業の魅力を直接求職者に伝えていただける説明会となっております。参加者は、参加する企業やその業界・職種に興味がある求職者です。

当日の流れは、まず参加者全員に企業概要や仕事の内容を説明していただいた後、希望があった求職者に対して個別相談に応じていただきます。これにより、参加者とその企業で働くイメージをより具体的にのつかんでいただけます。

ミドル、シニア層の経験や人間力を必要としている企業の皆様は、是非御参加ください。

### ◎問い合わせ先

ハローワーク浦和・就業支援サテライト (048-826-5611)

### 県内職業訓練校の作品展示会

#### 「彩の国総合技能展」

県内の職業訓練校が合同で訓練



昨年度の「彩の国総合技能展」の様子  
 生の作品を展示する「彩の国総合技能展」を開催します。  
 日頃の鍛錬による優れた作品を御覧いただき、訓練生の高い技術力を体感してください。多くの方々の御来場をお待ちしております。

- 日程 2月4日(土)10時～17時  
2月5日(日)10時～16時
- 会場 ふれあいキューブ(春日部駅西口徒歩5分)

※入場無料・事前申込み不要  
お問い合わせ先 県産業人材育成課 (048-830-4598)

### 社員のスキルアップ講習に県が講師を派遣します

県では、中小企業等を対象に、講師派遣による在職者向けスキルアップ講習を実施しています。いつもの社内環境や使い慣れた機械で技術指導が受けられます。新人社員教育、各種検定受験対策などに是非御活用ください。

◎講習分野 機械操作、溶接、CAD、ITスキル、介護スキル、業務改善など様々な分野の講習が可能です。

- 定員 3人以上(最大人数は講習によって異なります)
- 講習時間等 1講習当たり12～30時間(御要望に応じて実施日や時間を設定可能です)

◎受講料 1人当たり2,000円(材料費・テキスト代等は、企業で御負担いただきます)

### ◎問い合わせ先

県産業人材育成課 (048-830-4598)

### 労働セミナーの受講者を募集しています

県では、労働法や労働関係の身近な問題等をテーマに、よりよい職場づくりに役立つセミナーを開催しています。

現在、主に事業主・人事労務担当の方を対象に次の会場の受講者を募集中です。

- テーマ・日程 (1)さいたま会場 「がん等の治療と仕事の両立支援」(1月16日(月))
- (2)熊谷会場 「揺れ動く内外情勢とこれからの日本経済」(2月3日(金))

◎開催時間 14時～16時  
◎詳細 HPを御覧ください。

※この他、1月から2月にかけて県内各地で様々なテーマのセミナーを開催します。開催情報はHPで御覧いただけます。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0808/rodoseminar/>  
お問い合わせ先 県勤労者福祉課 (048-830-4518)

# 低成長時代の就業規則の

## 見直し・改訂のポイント

第一一三回



### 労働契約法の企業実務上の

#### 対応について(その27)

弁護士 安西 愈

## 九 競業禁止義務をめぐって

### (第一回)

#### 1 退職後の競業禁止義務とは

従業員が在職中に兼業禁止義務を負うということについては、前回までに述べたところであるが、従業員が退職した後まで、元の在職した会社と同業・同種の競業関係に立つ会社に転職して業務を行うことが、元の会社の立場としても禁止できるのかというのが基本的な問題である。

この点については、一般的には次のように考えられている。

「競業禁止義務とは、使用者と競合する業務を行わない義務をいう。自ら競業事業を起こすことのみならず、競業他社への就職も競業禁止義務の違反となる。これについては明文の規制はなく、解釈問題となる。」

まず、在職中については信義則上、労働契約の付随義務として競業禁止義務が認められることで学説・裁判例とも一致している。

これに対して、退職後の競業禁止義務については、一方で競業制限についての使用者の利益があり、他方で、退職労働者の職業選択の自由の問題、さらには競争制限による独占集中の問題(公正競争秩序維持)等を考慮する必要がある。また、競業の際には前職で得た営業秘密を利用することが多く、秘密保持義務との関係も問題となる。

現在の学説・判例の立場は、以下のように要約できよう。まず、不正競争防止法という営業秘密を「使用し」た競業は、同法の規制によって(契約上の根拠がなくとも)制限可能となる。これに対し、営業秘密を使用しない競業を制限するには、契約上の根拠が必要となる。〔荒木尚志「労働法第3版」

280-281頁)とされている。

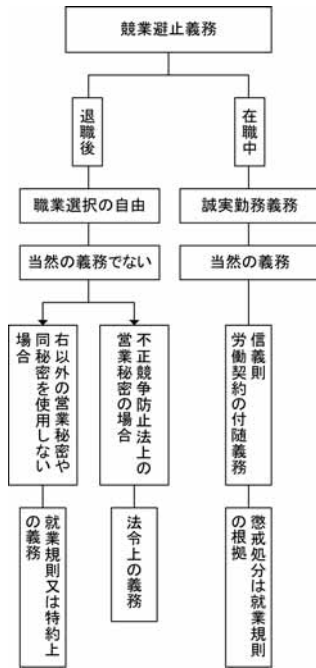
同様に、「労働者は、労働契約の存続中は、一般的には、使用者の利益に著しく反する競業行為を差し控える義務がある。したがって、そのような行為がなされた場合には、就業規則の規定(「会社の利益に反する著しく不都合な行為」など)に従った懲戒処分や損害賠償請求がなされる。

労働者の競業禁止義務の存否は、実際上は労働者の退職後、同業他社に就職したり、同業他社を開業

したりする場合に、退職金の減額・没収、損害賠償請求、競業行為の差止請求の可否との関連で多く問題となっている。そして、労働契約の終了後については、労働者に競業選択の自由があるので、労働契約存続中のように一般的に競業禁止義務を認めることはできず、当該措置の法的根拠と合理性を問題ごとに吟味すべきこととなる。」(菅野和夫『労働法第11版』260頁)

とされているところである。これをまとめると第1図のようにいえる。

第1図 競業禁止義務の法的根拠



#### 2 どのような場合に退職後の競業禁止義務は有効か

退職後の守秘義務等に関係する競業禁止義務の特約や周知された就業規則がどこまで有効か、退職後の職業選択の自由をめぐって問題となるのである。

この問題について、先例となつた次の判決が有名であり、その後はこの判示の方向が実務上の通説になつているので、紹介しよう。本件事案は、金属製造の際に使用する各種冶金副資材の製造販売

K社は元の会社の製品と同様の製品の製造販売をなし元の会社の得意先を蚕食しつつあった。そこで、右特約上の権利を被保全権利としてA及びBに対し、K社の製品(その数86品目)及び元の会社の製品と逐一対応する)の製造販売業務に従事してはならない旨の仮処分を求めたのが本件である。

そこで、本件の競業行為の禁止についての「競業禁止」の特約の効力について問題となったものである。裁判所は次のように判示してその有効性を認めた(昭和45年10月25日奈良地裁判決、フォセコ・ジャパン・リミテッド事件、判時624号78頁)。

「一般に雇用関係において、その就職に際して、或いは在職中において、本件特約のような退職後における競業禁止義務をも含むような特約が結ばれることはしばしば行われることであるが、被用者に対し、退職後特定の職業に就くことを禁ずるいわゆる競業禁止の特約は、経済的弱者である被用者から生計の道を奪い、その生存をおびやかす虞れがあると同時に被用者の職業選択の自由を制限し、又競争の制限による不当な独占の発生する虞れ等を伴うからその特約締結につき合理的な事情の存在することの立証がないときは一応営業の自由に対する干渉とみなされ、特にその特約が単に競争者の



排除、抑制を目的とする場合には、公序良俗に反し無効であることは、明らかである。従って被用者は、雇用中、様々の経験により、多くの知識・技能を修得することがあるが、これらが当時の同一業種の営業において普遍的なものである場合、即ち、被用者が他の使用者のもとにあっても同様に修得できるであろう一般的な知識・技能を獲得したに止まる場合には、それらは被用者の一種の主観的財産を構成するのであってそのような知識・技能は被用者は雇用終了後大いにこれを活用して差しつかえなく、これを禁ずることは単純な競争の制限に他ならず被用者の職業選択の自由を不当に制限するものであって公序良俗に反するといふべきである。

しかしながら、当該使用者のみが有する特殊な知識は使用者にとり一種の客観的財産であり、他人に譲渡しうる価値を有する点において右に述べた一般的な知識・技能と全く性質を異にするものであり、これらはいわゆる営業上の秘密として営業の自由とならんで共に保護されるべき法益というべく、そのため一定の範囲において被用者の競争を禁ずる特約を結ぶことは十分合理性があるものと言うべきである。このような営業上の秘密としては、顧客等の人的関係、製品製造上の材料、製法等に関する

技術的的秘密等が考えられ、企業の実質により重点の置かれ方が異なるが、現代社会のように高度に工業化した社会においては、技術的・秘密の財産的価値は極めて大きいものがあり従って保護の必要性も大きいと考えられる。即ち技術的進歩、改革の一つには特許権・実用新案権等の無体財産権として保護されるが、これらの権利の周辺には特許権等の権利の内容にまではとり入れられない様々の技術的・秘密ノウハウなどが存在し、現実には両者相俟って活用されているというのが実情である。従ってこのような技術的・秘密の開発・改良にも企業は大きな努力を払っているものであって、右のような技術的・秘密は当該企業の重要な財産を構成するのである。従って右のような技術的・秘密を保護するために当該使用者の営業の秘密を知り得る立場にある者、たとえば技術の中枢部にタッチする職員に秘密保持義務を負わせ、又右秘密保持義務を実質的に担保するために退職後における一定期間、競業禁止義務を負わせることは適法・有効と解するのを相当とする。」と判示されている。

そして、本件は職業選択に自由を不当に制限し、労働者の生活を脅かすもので公序良俗に違反し、無効であるとの元従業員である債務者側の主張に対しては、次のよ

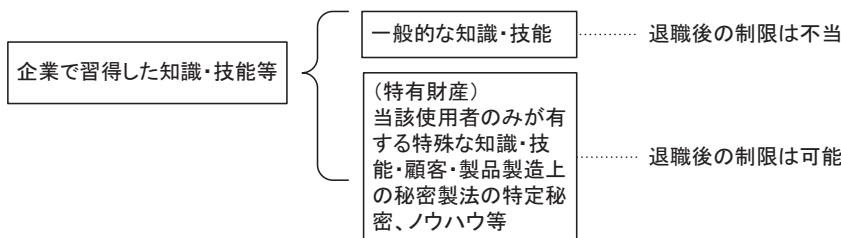
うに判示した。

「債務者らの主張は、要するに本件特約が債務者にとつて著しく不利益なものであって、債務者の生存をすら脅かすものであり、公序良俗に反して無効であるというにある。競業の制限が合理的範囲を超え、債務者らの職業選択の自由等を不当に拘束し、同人の生存を脅かす場合には、その制限は公序良俗に反し無効となることは言うまでもないが、この合理的範囲を確定するにあたっては、制限の期間、場所的範囲、制限の対象となる職種の範囲、代償の有無等について、債権者の利益（企業秘密の保護）、債務者の不利益（転職、再就職の不自由）及び社会的利害（独占集中の虞れ、それに伴う一般消費者の利害）の三つの視点に立って慎重に検討していくことを要するところ、本件契約は制限期間は二年間という比較的短期間であり、制限の対象職種は債権者の営業目的である金属製造用副資材の製造販売と競業関係にある企業というのであって、債権者の営業が化学金属工業の特殊な分野であることを考えると制限の対象は比較的狭いこと、場所的には無制限であるが、これは債権者の営業の秘密が技術的・秘密である以上はやむをえないと考えられ、退職後の制限に対する代償は支給されていないが、在職中、機密保持

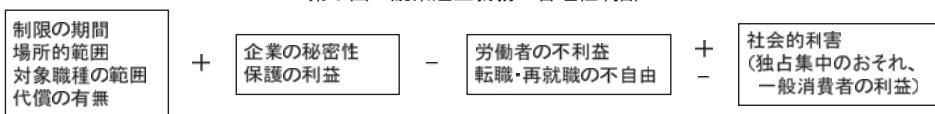
手当が債務者兩名に支給されていたこと既に判示したとおりであり、これらの事情を総合するときは、本件契約の競業の制限は合理的な範囲を超えているとは言いがたく、他に債務者らの主張事実を認めるに足りる疎明はない。従って本件契約はいまだ無効と言うことはできない。」とされた。

すなわち、まず、前提になる退職後の競業禁止義務の対象については第2図のとおりとなる。

第2図 競業禁止義務の制限の対象



第3図 競業禁止義務の合理性判断



次に制限の合理性であるが、この合理性の範囲を確定するにあたっては、第3図の図式による視点に立って総合的に判断されることになる。

この判例を前提として、「契約上の競業制限特約の効力は、①競業制限の目的(使用者固有の知識・秘密の保護を目的としているか)、②労働者の地位(使用者の正当な利益を尊重しなければならぬ職業・地位にあったか)、③競業制限範囲の妥当性(競業制限の期間、地域、職業の範囲が妥当か)、④代償の有無、といった諸点を総合考慮して、合理性がない制限であれば公序良俗違反として無効となる。最近の裁判例は雇用流動化を受けて、競業禁止義務の有効性を厳格に判断する傾向にある。」(荒木前掲書)とされている。

## 働き方改革とは何か

弁護士 安西 愈

政府は、昨年六月二日「経済財政運営と改革の基本方針二〇一六」（骨太の方針）のほか「ニッポン一億総活躍プラン」、「日本再興戦略二〇一六」、「規制改革実施計画」等を閣議決定した。その中には、「経済再生と財政健全化」とともに、労働分野が中心を占め、「同一労働同一賃金の実現など非正規雇用労働者の待遇改善、長時間労働是正に取り組み多様な働き方の選択肢を広げる。非正規雇用労働者の正社員転換等を推進する。」と目標が明記されている。

## ポイント労働法

そして、働き方改革の中心は、「ニッポン一億総活躍プラン」であり、①同一労働同一賃金の実現に向けて、我が国の雇用慣行に十分に留意しつつ、躊躇なく法改正の準備を進める、②長時間労働の是正に向けて、法規制の執行を強化し、関係法令違反が疑われる場合に、各省庁に通報する制度を構築し、下請けなどの取引条件にも踏み込んで長時間労働を是正する仕組みを構築する、③保育・介護サービスを提供するための人材の確保に向けて、安定財源を確保しつつ、保育士や介護人材の待遇改善、多様な人材の確保・育成等、「希望出生率一・八％」の目標実現と子育て支援等、労働負担の軽減、働く環境の整備を推進するなどの生産性の向上の総合的対策、である。

そして、これらを実現するため、政・労働のトップによる「働き方改革実現会議」を

安倍首相を議長として設け、現在その実行計画策定に取り組んでいる。

このような「働き方改革」は何のためか。これは、労働者の保護の強化等、福祉国家への移行という目的ではなく、我が国の労働人口がこの二〇年間に一〇〇〇万人が減少するという明確な事実を踏まえて、「日本が少子高齢化と人口減に直面する中、女性や高齢者が働きやすい環境を整備し、消費の活性化や労働生産性の向上につなげ、産業競争力を高める」という目的なのである。

働き方改革の目的は、「経済・財政計画」の一つの手段なのである。

そして、これは、労働問題なら主役は労使であるが、行政権の行使（憲法六五条）であるため、閣議決定のもと、内閣の責任と権限において推進している。

なお、この「働き方改革」が「財政・経済の再生」とどうつながっているのか、その明確な根拠が具体的に示されないまま、「企業内の正規・非正規間の格差是正や長時間労働の規制、最低賃金の引上げ」といった政策や有期社員の無期転換、子育て、介護の支援の充実策等であつては、目標を見失うことになる。

我が国企業の終身雇用制と新卒一括採用による企業内育成という中心的人事制度を「同一労働同一賃金」を梃子にして大転換するという政策であるならば、それは学校教育制度のあり方も変革が必要であり、社会や国民意識の改革が必要であろう。何よりも政策だけでなく、具体的な企業における実行プランの明示がなければ権力で規制するだけでは本当の意味の働き方改革にはならない。

## 埼玉県県民活動総合センターからのご案内

埼玉県県民活動総合センターは、会議・研修や講演会、レクリエーションなどにご利用いただける研修室・会議室（定員14～210名）をはじめ、小ホール（最大504名）やパソコン研修室、各種運動施設（体育館、テニスコート、グラウンド）など、お客様の様々なご要望に応じた施設をご用意しています。

また、宿泊施設（28室・最大110名）もありますので、併設のコバトン食堂（レストラン）をあわせて合宿や懇親会などにもご利用いただけます。

ぜひお気軽にご利用ください。

◆ 詳しくは下記ホームページをご覧ください ◆

URL <http://www.kenkatsu.or.jp>



外観



宿泊室(洋室)



セミナールーム

予約・問合せ：施設利用担当 048-728-7112 (9:00～17:15)

# 事業だより

二月二日～二月二〇日

◆二・二 第三回上條正仁会長杯  
争奪戦会員親睦ゴルフ大会（武蔵  
カントリー倶楽部）

◆二・五 第一〇回トップセミナー  
（ソニックシティ）

◆二・六 秋季北部地区協議会（株  
シエリエ上里カンターレ）

◆二・七 第一回トップセミナー  
（ソニックシティ）

◆二・一二 第二回トップセミナー  
（ソニックシティ）

◆二・一三 秋季中部地区協議会  
（株JRTテクノハート）、海外視  
察懇親会（パレスホテル大宮）

◆二・一九 労働法実務対策講座  
第一講（ソニックシティ）

◆二・二〇 第三回トップセミ  
ナー（ソニックシティ）

## 告知版

### ★第四回CSR委員会

日時 一月二二日(木)一三時～一六時  
会場 味の素ナショナルトレーニング  
センター

内容 JOC・味の素ナショナルト  
レーニングセンター視察会・  
講演「将来のスポーツ大國を  
めざすナショナルトレーニ  
ングセンターのねらいと将来  
のアスリート育成に向けて」  
講師 JOC強化部長代理 笠原健  
司氏

## 経団連の活動・提言など

### 過重労働防止徹底の

お願い  
(労法)発 第1024号  
2016年11月15日

経団連は今年度を「働き方・休  
み方改革集中取り組み年」(注1)  
と定め、各種活動を展開しており  
ますが、会員の皆様におかれまし  
ても、さまざまな形で過重労働の  
防止や働き方改革を推進いただい  
ていることと存じます。

2014年11月、過労死等防止  
対策推進法が施行されたことから  
毎年11月は過労死等防止啓発月間  
に指定されております。過労死は  
絶対にあつてはならないことであ  
り、経営トップが先頭に立つて、  
管理職も含めた社員の過重労働防  
止対策に取り組まなければなりま  
せん。

こうした趣旨をご理解いただき、  
以下の三点を踏まえた取り組みを  
引き続き推進していただきますよ  
うお願い申し上げます。

1. 経営トップ自らが、長時間労  
働の撲滅に向け社内の意識改革  
を図り、強いリーダーシップを  
発揮しながら、業務全体の見直

しを含め自社の実態にあつた働  
き方・休み方改革に強力に取り  
組むこと。

2. 労働時間の適正な把握や、ス  
トレスチェックの実施(注2)な  
ど、労働法令が遵守されている  
かどうか、常時点検を行うこと。  
3. 管理職は、部下とコミュニケ  
ーションを密にして業務進捗や  
疲労の蓄積等を確認し、適宜、  
負荷軽減や業務支援などに努め  
ること。

注1 「働き方・休み方改革集中  
取り組み年」の取り組み  
[http://www.keidanren.or.jp/p  
olicy/wlb.html](http://www.keidanren.or.jp/policy/wlb.html)

注2 ストレスチェック

労働安全衛生法が改正され、  
従業員数が50人以上の事業場  
は、2015年12月から、常時  
使用する労働者に対して、毎年  
1回、ストレスチェックを実施  
することが義務付けられていま  
す。

また、高ストレスと評価され  
た労働者から申出があつた場合、  
「医師による面接指導」の実施  
や、就業上の措置を講じる必要  
があります。

# 全国ネットの人材情報で、 出向・移籍等の支援！

お気軽に  
ご相談ください

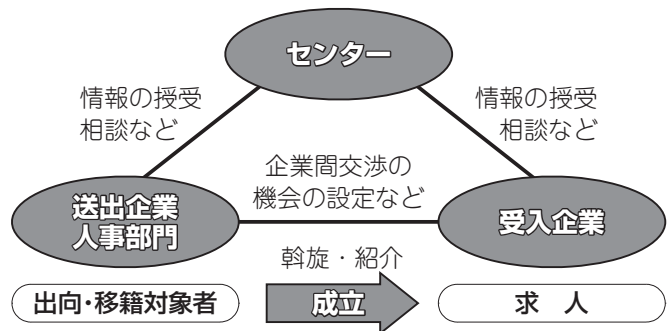
企業間の人材マッチングを  
サポートしています。

### 信頼と安心

経済・産業団体と  
厚生労働省の協力で  
設立された公益  
法人です。

### 無料

情報の提供、相談、  
あっせんの費用は  
かかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121(土・日・祝日休)

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

出向・移籍の  
専門機関



公益財団法人  
産業雇用安定センター

埼玉  
事務所

★第四回特別セミナー
日時 一月一九日(木)一四時～一六時
会場 ソニックシティ四〇四
内容 成熟市場における効果的な与信管理方法と企業の見分け方、見つけ方、

講師 (株)帝国データバンク大宮支店 支店長 上西伴浩氏
★第五回CSR委員会
日時 二月一日(水)一二時四十分～一六時

会場 埼玉県立上尾特別支援学校
内容 特別支援教育の現場の視察と意見交換会と県立上尾特別支援学校、

★労働法実務対策講座第二講
日時 二月六日(月)一四時～一六時三〇分

会場 ソニックシティ四〇三
内容 定年後再雇用における労働条件設定実務と実務対策セミナー

〈新入会のご案内〉

AGSシステムアドバイザリー(株)

代表取締役社長 小泉 公彦

さいたま市浦和区針ヶ谷四一二一 一

電話〇四八―八二五―一六〇三九

(資) 三千万円

(従) 一六名

コンサルティングに関する業務

(IT、情報セキュリティ他)

AGSビジネスコンピューター(株)

代表取締役社長 高田 和郎

さいたま市大宮区北袋町一―二九 九―一二

電話〇四八―六七七―六〇二〇

(資) 三千万円

講師 石崎・山中法律事務所ヴァイスパートナー弁護士 塚越賢一郎氏
★春季西部地区協議会
日時 二月七日(火)一三時三〇分～一八時

会場 (株)丸広百貨店
内容 ①春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢

講師 ①経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏

★青年経営者部新春特別講演会
日時 二月七日(火)一五時～一八時三〇分

会場 パレスホテル大宮

(従) 一一四名

情報サービス業(システム開発、OA機器販売、PCサーバ保守)

(株)清水金物

代表取締役 島田 憲一

秩父市宮側町一五―一四

電話〇四九四―二四―五三三三

(資) 一千万円

(従) 二一名

金物卸、小売業

代表取締役

(株)カタヤマ

片山 雄一郎(旧) 片山 金次郎

医療法人社団松弘会 三愛病院

理事長

内容 講演会「変化の時代に求められるリーダーの『覚悟』・懇親会」
講師 (株)コミュニケーションCEO&Founder 元アップル・ジャパン代表取締役社長 山元賢治氏
★春季中部地区協議会
日時 二月二〇日(月)一四時～一六時三〇分

会場 ソニックシティ九〇六
内容 春季労使交渉・協議に臨む経営側の基本姿勢

講師 経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏

★春季北部地区協議会
日時 二月二二日(火)一四時～一六時三〇分

会場 マロウドイン熊谷
内容 春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢

講師 経団連事業サービス人事賃金

濟陽 義久(旧) 濟陽 輝久

(株)椿本チエイン 埼玉工場

執行役員 宮地 正樹(旧) 代表取締役専務執行役員 藤原 透

(株)マイナビ埼玉支社

支社長 鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

鈴木 隼人(旧) 高田 浩明

上尾市上町一―一―一五市川ビル 5F

センター長 平田 武氏
★ものづくり大学特別公開講座
日時 二月二二日(水)一三時～一五時

会場 パレスホテル大宮
内容 デジタルファブリケーション―新国産競技場から未来のものづくりに向けて―

講師 建築家・東京大学教授 隅研吾氏

★春季南部地区協議会
日時 二月二四日(金)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 川口総合文化センター・リリア
内容 ①春季労使交渉に臨む経営側の基本姿勢

講師 ①経団連事業サービス人事賃金センター長 平田武氏

北足立郡伊奈町栄四―九八

(旧) さいたま市中央区鈴谷四―五―二二

(株)埼玉シミス

さいたま市大宮区桜木町二―二二 八―一

(旧) さいたま市大宮区三橋三一 一六六

(株)シグマスタッフ 大宮支店

さいたま市大宮区桜木町一―一九 一三谷ビル7F

(旧) さいたま市大宮区桜木町四 一―二四二鐘塚ビル2F

高橋商事(株)

本庄市小島南一―五―一九(旧) 本

本庄市小島南一―五―一九(旧) 本

②(株)新経営サービスシニアオンサルタント 橋本喜充氏
★第三〇回生き生き職場体験交流の集い「これまでと違った私にチャレンジしてみる」
日時 三月七日(火)九時三〇分～一六時五〇分

会場 ソニックシティ四〇一・四〇二

講師 【基調講演】(株)AFRIKA ROS 代表取締役 萩生田 愛氏

(株)テレビ埼玉編成局長 新井千里氏

岩堀建設工業(株)取締役企画事業部長 中路孝子氏

庄市下野堂六一―一―一

三好化成(株)

さいたま市岩槻区上野三一―八一

(旧) さいたま市緑区代山原ノ下 七〇五―一

埼経協ニュース三九六号

2017年1月6日発行

さいたま市大宮区桜木町一―七五―八七

ソニックシティビル九階

発行所(一般社団法人)埼玉県経営者協会

発行人 根岸茂文

編集人 廣澤健一

電話〇四八―六四七―四〇〇

印刷所 望月印刷株式会社

さいたま市中央区阿弥五八―三六